

## 【参考資料】ワークショップの実施内容及び委員会での分類内容について

### 1. ワークショップの実施内容

#### 1) ワークショップテーマ

「人口減少問題について みんなで考えよう」

※ワークショップは複数の班に分かれて実施。

#### 2) ワークショップの流れ

##### 第1の作業

テーマに関連した事からで、日常生活において「困っている事」「気になっている事」を付箋紙へ記入し、班内で発表しながら模造紙に貼る。

##### 第2の作業

模造紙に貼られた付箋紙を、記入内容によってグループに分け、そのグループに題名をつける。次に、各自が重要な案件だと思うグループを3点選び、シールを貼る。そして、多くシールが貼られているものから3つのグループを班の課題に決定する。

##### 第3の作業

第2の作業で決定した班の課題について、各自がその解決策を書き、班内発表をする。

### 2. 委員会での分類について

ワークショップ「第3の作業」において、参加者の皆さんが記入された解決策について、各委員会において下記のA、B、Cの分類に分け、今後の政策提案等へつなげていくこととしています。

なお、上記の分類に関わらず、頂戴したすべてのご意見について、議員一人ひとりが、課題として認識し、今後の政策提言等へ結びつくよう活動することとしております。

#### 1) 各分類の内容

A：市の執行機関へ報告するもの

B：委員会として協議していくもの

C：意見として承るもの

Aの「市の執行機関へ報告するもの」としたものは、今後の市政運営に活かしてもらうよう市の執行機関へ情報提供を行うもの。

Bの「委員会として協議していくもの」としたものについては、当該内容を基に政策的な課題を見出すなど、各委員会における調査・研究の参考とし、政策提案等へつなげるもの。

Cの「意見として承るもの」は、ご意見の一つとしてお聞きしておくもの。

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(井原地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	医療機関を充実させる	医療の充実	市民病院の運営体制の充実、産科婦人科の設置		市民福祉	A
1	病院、市民病院の受け入れが悪い		日常医療の充実		市民福祉	C
1	救急車の受け入れができない		救急搬送の受け入れ体制		市民福祉	A
1	収入を増やす、賃金を上げる	雇用と賃金 の充実	収入を上げる		建設水道	C
1	仕事がない		賃金を上げる		建設水道	C
1	職場が少ない		企業誘致、(魅力ある企業)		建設水道	C
1	収入を上げる		農業企業誘致		建設水道	C
1	市民税が高い		メジャーなスポーツ企業を誘致する		建設水道	C
1	農業企業の誘致					
1	メジャーなスポーツ企業を誘致する					
1	全国から人が集まるイベントをする(単発ではなく継続性のある物)	市のPR	何かのイベントをして市外に向けてPRする		総務文教	A
1	井原市として誇れるイベントを立ち上げる				市民福祉	C
1	PRが市内だけが多い県外市街に向けて発信する				建設水道	C
1	町を整理しないと家に車が入れない	その他				
1	空き家を市が買い取り整地してほしい	その他				
1	独身者30歳前後の人の結婚への意欲がない	その他				
1	時代の流れしかたない	その他				
1	通信費を安くする	その他				
1	人口を増やすには外国からの移民を増やす	その他				
1	少ない人口でも確率する社会	その他				
1	江戸時代へ帰る	その他				
1	食の自給率を向上	その他				

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(井原地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」	振分先委員会	分類結果
2	企業誘致	雇用の問題	景気対策向上の為、企業誘致(地域特区)を進め雇用の拡大を図る	建設水道	C
2	若者の職場				
2	職場条件改革				
2	老後の雇用確保				
2	仕事(量)の拡大、若人の取り込み				
2	地域特区				
2	景気対策				
2	企業立地雇用対策				
2	帰井増す何か				
2	人づくりのチャンス見逃さないこと				
2	アイデア商品の考案を楽しむ	市民福祉	C		
2	布、紙で何かを作る、考える楽しみ	建設水道	C		
2	若者が地域に残り活躍したいという町づくり				
2	町づくりの会での集客の増				
2	意見収集方法	その他			

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(出部地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
1	子どもが結婚しない	人口減少	結婚しない理由は種々あるが、子育て・教育・就職と将来の見通しに不安がある事が大きいと思われる。子育て環境、教育環境、就職環境を向上させる。		総務文教 市民福祉 建設水道	A C C
1	結婚しない男女が多い		我が家には未だ結婚しない子どもがいます。親としては大変気になりますが、当人はどう考えているのか?結婚する数が増えれば、人口減少に少しでも歯止めができるのではないかと思います。そこで、婚活の機会を色々な手法を取り入れたり、他の自治体で効果の上がっている先進例を参考にしてはどうかと考えます。		建設水道	C
1	結婚より楽しい事が多いのではないか		学校が終わったら地元へ帰る事を親が子どもに話してみる。		総務文教 建設水道	C C
1	結婚が自由になり広い範囲で住む所が地元を離れるため帰ってこない		就職を地元に近い所を見つける。		建設水道	C
1	若い人が少なくて出会いの場が少ない		井原の良さをもっと子ども達に知ってもらう		総務文教	A
1	晩婚化が進んでいる		若い人たちと高齢者のコミュニケーションをとり、つながりをもつ。		総務文教	A
1	親が子どもに対して過保護である		地元の人たちの繋がりアイデアも浮かび生きる喜びも楽しみも出来て良い町になる。		市民福祉	C
1	小児科病院がない(いざという時)		母親が病気の子どもを預けることができる保育所(医師か看護師常駐)の設置が必要。		市民福祉	A
1	赤ちゃんが2人目以上が有利な社会基盤をつくる		昔でいう仲人の復活(お見合いのしやすい環境を作る)。		建設水道	C
1	人口減少になる問題が明確にされていない		地元での出会いがあり、結婚後も地元で生活できる環境づくりができれば良い。		建設水道	C
1	減るのはしかたない、減ってもその中でできることをしていく町に		井原市に結婚して住みたいと思われるような地域の町づくり。(新たな移住者)		総務文教 市民福祉 建設水道	A C C
1	人口が減っても幸せな暮らしができればいいのでは		増やそうといろいろな取り組まれていつも難しい現状。減ってもその中でできることを考える。		総務文教 市民福祉 建設水道	A C C
1	市外からの流入が少ない		今までの発展を求めるのではなく、ゆっくりとした社会の中で充実感を味わうことのできる町づくり。		総務文教 市民福祉 建設水道	A C C
1			現状、増やそうとしてもなかなか難しい。減ってもその中で。		総務文教 市民福祉 建設水道	A C C

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(出部地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	人にしてもらおうでなく自分のできることを小さいことでもする(ボランティア精神を)	生活環境	町づくり、地域の力を生かした町。		市民福祉	C
1	町づくりを発展させていく		小さいことでもお互い支え合えることに喜びを持つように意識づくり(学校教育)		総務文教	A
1	子育てが安心できる仕事と共立					
1	小さすぎる学校ではよりよい人間関係が作りにくい					
1	若い人達のニーズに合った町づくりができていない					
1	住んでいて楽しい町					
1	病院にもっと先生がいてほしい					
1	学校へ行くため地元を離れる		就職	工場や大学の誘致。(現状では難しいのでは)		総務文教
1	井原市には働く工場など大きいところがない			建設水道	C	
1	人材育成の場が少ない	高齢者の働く場(人)が多くなり、若い人の場をうばっている面もあるのでは。		建設水道	C	
1	学校卒業後に帰らない					
1	地元で働くところが少ない					
1	仕事をするとところがそのまま出たところである					
1	仕事先があまりない					
1	若い人が地元で帰らない					
1	高齢者介護のために休職しても復帰できる社会に	高齢者				
1	高齢者を自宅介護できる制度					
1	高齢者の一人住まいが多くなっている					
2	表題のテーマが大きすぎるので皆が参加することが難しかったと思う。身近な問題を取り上げた方がよい。	その他	質問に答えがない。		広聴広報	C
2	議会で考えないなら責任放棄では!定数を減らすこと。		市民の代表の議員さんで考えてください。		広聴広報	C
2			テーマの議題が大きすぎて検討できない。		広聴広報	B
2			もう少しかみくだいた検討会であってほしい。		広聴広報	B

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(出部地区)

班番号	第1の作業		第3の作業			
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」	振分先委員会	分類結果	
2	企業誘致ができないのに雇用の確保できるのですか	雇用	企業誘致。	建設水道	C	
2	働く場所の確保		市民の代表の議員さんで考えてください。	広聴広報	C	
2	環境作り		企業(会社等)働く場所を増やす。	建設水道	C	
2	人口減少は出てくる問題はどこもある。答えることも同じようなもので、職場・出産・子育てになる。		若者が他の市町村に行かない様な若者が仕事できる企業。	建設水道	C	
2	市内等の就職する会社等がわかりにくい					
2	働く場所の確保					
2	経ヶ丸について	子育て	生活の安定。	市民福祉	C	
2	子育てに関するすべての費用を高校卒業まで無償にする		市民の代表の議員さんで考えてください。	広聴広報	C	
2	出産		若い人が生活する環境作り。	市民福祉	C	
2	子育て		仕事場の確保。	建設水道	C	
2			保育園等の確保。	市民福祉	C	
2	若者が楽しめるまちづくり	コミュニティー				
2	地域のつながりが気薄になっている					
2	となりとの交流					
2	市内の若者(男女)の出会いの場が少ない					
2	消防団員の確保が大変					
2	定年退職して県外より帰っても地域へ溶け込めない方がいる					
2	不耕作地があっても作り手がいない	生活環境				
2	市民病院の利用					
2	住む為のメリット作り					
2	敷地等の確保					
2	県・市民税の優遇、国保等の優遇					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(高屋地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	子供の医療費は支給はあるが、予防接種の方もお願いしたい	出生・子育て	出生率、結婚		市民福祉	C
1	子供が少なく幼稚園児が少ない		高校生まで医療費の無料化		市民福祉	C
1	保育園の土曜日保育をお願いしたい		子育て中の母親が就職する場合、就職していなければ子供を預かってくれない現状はおかしい。預かってもらうことが決定していれば、就職も本腰で探せる。(私の娘の体験より)。保育園をもっと増やして、充実させることで、他の市町村より井原市へ定住すれば働きやすいと、ロコミとかネットとかで子育て中の方が増え、人口増に繋がるのでは		市民福祉	C
1	子供の人数が少なくクラス替えがない		幼稚園を充実させる。→市内だけでなく市外の方も、あの保育園に子供を通わせたい!と思えるような工夫があるとよいのでは		総務文教 市民福祉	A C
1	共稼ぎ夫婦の安心に働ける子供の保育場所の確保、仕事を探している段階から		子供の減少、すなわち井原市の定住者の減少にあると思うので、魅力的な、保育料の余りかからない保育施設の充実		市民福祉	C
1	子供が減り、地域によっては学校など集団として成り立たないところも…		保育所を増やす。助成金・給与UP(職員)		市民福祉	C
1	子供の活動の場がなくなるのでは?、スポーツ、施設		企業に託児所		市民福祉	C
1	結婚、これが一番の問題、(我が家のことです)				建設水道	C
1	出産、子育てのしやすい職場環境					
1	出産率が少ないので、ベビーブームはなぜ起きたのか					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(高屋地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	地元への企業誘致	就職	有名企業の誘致		建設水道	C
1	大企業は増えているかもしれないが、地元の人の雇用がない		大きな企業が来てくれるのは、それなりの土地、交通機関の有利性の整備		総務文教	A
1	若い人の井原市への定住、定着		学卒者の就職しやすい企業が数多くあれば定住、定着増となり、人口増加となる		建設水道	C
1	地元への就職ができないため、市外、県外へと出てしまう		企業の助成金、税金免除、業績UP, 雇用創出		建設水道	C
1	企業誘致ができていない		企業誘致の強化(災害リスクが少ない→PR)		建設水道	C
1			市外の企業でも通勤しやすいインフラなど、整備する		建設水道	C
1			研究施設をつくる(例、学研生駒)		総務文教	A
1			水、環境、災害少ない		建設水道	C
1			先日、市議会で企業誘致によって7名の方の就職があったと聞きましたが、年間何名の学生が地元就職を望んでいらしたのでしょうか？学生がUターンで地元に戻って来られるような企業誘致、または地元でない方々が、井原市に定住できるような環境、空き家等の低価格での貸し出しなど具体的な案がほしいです。		建設水道	A



○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(高屋地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	近所に空き家が多い。田畑が荒れてしまう。高齢化	空家	施設化(グループホームなど)		市民福祉	C
1	テナントの空きが多い		-----		建設水道	C
1	空家、空き地の活用		店(企業)増やす		建設水道	C
1	空家又アパートの空室が多い、特に公共の建物		収入が上がるような井原の特産品を考える		建設水道	C
1	スーパー、飲食店の減少		リフォームを、若者好みだけでなく、広い年齢層を対象にいくつもの種類を作る		建設水道	C
1			土地も格安で与え、農作物等が作れる喜びを与え、他県等から住んで頂く		建設水道	C
1			定年後を井原で住んで頂くと、お年寄りを支える若者の仕事も出来る		建設水道	C
1			定住、定着を促進させるのであれば空家、空地の有効利用をする		建設水道	C
1		空家	住めるよう、リフォームして提供、地域の人たちの受け入れ態勢も整備、(温かく人情味のある受け入れ)、野菜作り等の指導など、地域の人になれるような配慮が必要、ネット等でしっかりPRすることも効果的		総務文教	A
					建設水道	C
1	運動公園等の駐車場の拡大	インフラ				
1	通勤、通学の足が減ってしまった。保護者の送り迎え、利用者数の減少					
1	経ヶ丸等設備の補修					
1	語学力がないので英語でも分かれば	その他				
1	女性会への加入が少なくて困っている					
1	一人当たりの税額増					
1	市役所窓口の受付を土、日、祝日もして欲しい					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(高屋地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
2	保育料の一定化	子育て	子育てがしやすい環境に		市民福祉	C
2	子育て支援の充実		子供を育てるには、心の余裕が必要だと思う。親の心にゆとりを持たせるには…時間的なものがある。子供の勉強をみてくれる場がある。子供にいろいろな経験をさせてくれる場がある		総務文教	A
2	多子世帯に対しての支援を増やして欲しい		子育てをしやすい環境を整える。子供が成長するに従い、教育費もかさむ為、子供が多い世帯への補助(支援を増やしてほしい。)		市民福祉	A
2	多子世帯に対しての支援が少ない					
2	子供との時間がとれない					
2	少年団活動が大変					
2	一人では生活できないお年寄りが、一人で生活しないといけない現実をなくしていかないとけない					
2	年金を支払う世帯が少ない	自立	最近の就職は、給料よりも休みが多い職場が人気がある。子供が週休2日、祝日も休みに慣れすぎて辛抱できない。収入が少ないと結婚もむずかしいから結婚もしない。もう少し給料、休日のバランスをとれるような環境が良い。なかなか人手不足で休みも取りづらい		建設水道	C
2	収入が少ないので結婚できない若者が多い		自立に向けて地域で指導していく場を整える。就活する意味を認識すべきだ		総務文教	A
2	ある一定の年になったら一人暮らしを経験する。自立するために		仕事は「選ばなければいくらかもある」という方がおられた。今は「自分に合った」とか「自分を生かせていない」とかで仕事を選んでしまっているのではないかと「辛抱すること」「仕事は楽しいことばかりではない」ということを学校で教える。週休2日は楽なのではないか?		総務文教	A
2	正社員になれない若者が多い					
2	インフルエンザのワクチンが高い!	医療	インフルエンザのワクチンを一定の金額、または集団で出来る場を提供していく		市民福祉	C
2	医療費が高すぎ		インフルエンザのワクチンを無料にしてほしい。高くてもワクチンを打てない人が多い。そのためインフルエンザがまんえんすることになる。		市民福祉	C
2	ワクチン、無料に					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(高屋地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
3	仕事が忙しく、若い男女の出会いの機会が少ない	会社・仕事	会社は社会の公器、雇用の維持と同時に生計出来る様な賃金も払う。その為には現状維持ではなく、チャレンジして、会社も従業員も努力		建設水道	C
3	仕事目線で職種が少ないため、他に出て行く		公共交通の充実、補助(定期)		総務文教	B
3	魅力のある企業が少ない		井原から仕事先(福山笠岡などの工業団地)へ通勤するために、若い夫婦を呼び込む。そのために住宅補助金増額、子供の補助金増額、18歳までの子供医療費の無償化、保育園の保育時間の延長と無償化		市民福祉	C
3	産業経済、国内		企業が少ない。賃金が安い。働きやすいような場を作る。市のバックアップ		建設水道	A
3	グローバル経済、海外進出、多		企業の体力強化、従業員の賃金アップに寄与した企業への税の軽減		建設水道	C
3	井原市内に良い企業が少なく、若い人の流入がない。地元企業の奮闘、努力		企業誘致し、仕事の確保⇒人口増に努める		建設水道	C
3	親の面倒をみない子(成人)が多い	家庭	わが子に対し、結婚し、子供をもうけることは、自然の姿と教え、説得する		総務文教	A
3	結婚しない男女が多い		結婚しない人が増えているので、出会いの場を作る、婚活		市民福祉	C
3	結婚しない人が多くなっている		結婚する気にさせる。賃金の確保、生活の安定		建設水道	C
3	わが子に対し、結婚し、子をもうける事は自然の姿と教え説得する		子供の教育、就労世帯の幼児預かり、小学生の放課後の学童保育、夜7時までの施設を増やす。料金も負担軽減を図る⇒受け入れ施設の人たちの賃金アップにより、人材を確保する		建設水道	C
3	住宅地	福祉	高齢者福祉も大切であるが、将来の井原を担う若者に、もっとお金を使い、働きやすい、結婚しやすい子作りしたい、子育てしたい、政策を実施する		市民福祉	C
3	補助金、住宅・子供		福祉の充実、医療機関の診療時間拡大、市民病院の土曜診療、平日の受付時間延長		市民福祉	A
3	産婦人科医		住宅の補助、市内在住者世帯の新規住宅取得、および市外在住者の転入、住宅取得者への高額補助金支給、居住年数の縛りをつけること		建設水道	C
3	深夜営業の病院(市民病院)		21:00~6:00			

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(高屋地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
3	若い夫婦は共同で家事を行い、共稼ぎ家庭の維持を計る	自立・経済				
3	家庭経済					
3	会社でも新婚家庭の女性は定時に帰り、やり残しは他の人がする。心配り必要					
3	若い世代の収入の安定、将来の展望が描けない。結婚に踏み切れない原因					
4	大企業の誘致	企業誘致	行政と民間が共同して行う		建設水道	C
4	市外からの企業を誘致する		土地の集約(空地の確保)、税法対策		建設水道	C
4			市のえらい人が企業の誘致を熱意をもって連れてくる		建設水道	C
4			大企業に特典を与える、税金は全てタダにする		建設水道	C
4			大きな土地を無償で提供すること		建設水道	C
4			広大な土地を造成して安く売る、税金を安くする(数年間)		建設水道	C
4	中小企業の賃金の上昇	賃金	同一賃金の設定		建設水道	C
4	市内企業の平均賃金の低さ		中小企業のベース賃金のアップ(生活賃金の確保)		建設水道	C
4	雇用人員の増加(不況→好景気)		繊維企業と小売商店の賃金の確保		建設水道	C
4			一定以上のベースアップを行った会社には税金を安くする		建設水道	C
4			中小企業の利益向上を図る。そのためには元請け企業からの仕事を増す協力、若しくは手助けを企業だけの努力では無理があるので、官民一体となってやること。海外への進出の時、新幹線、原発などは国(政府)が協力しているので、中小企業も、官が手助けすればよい		建設水道	C

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(高屋地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
4	交通不便	交通	高速道路への導入路の確保		建設水道	C
4	交通手段、便利性		高速道路へのアクセス道路を整備する		建設水道	C
4			バスの運行網が少ない		総務文教	B
4			タクシーの利便性をバスの代わりに運行する(補助金を出す、サービス券等)		総務文教	B
4			井原鉄道の運行が少なすぎ		総務文教	B
4			予約バス(小型車)を運行する		総務文教	B
4			自転車に優しいまちづくり(道路)専用路を整備		建設水道	C
4			ライドシェア導入		総務文教	B
4	他地区からの人口増加策		人口	雇用拡大		建設水道
4	老人の一人暮らしが多い					
4	若者の流出					
4	大型モールなどで人口出入りがない	サービス業				
4	娯楽施設					
4	自治連のその他、地区の役割が多すぎる。いなかの為	その他				

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(高屋地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
5	結婚したくても、できない若い方が多くおられる	若い二人に	どんだん子供を生むこと		市民福祉	C
5	若い人が市外、町外に転出しているように思う		市外から人を呼ぶこと		建設水道	C
5	子供が少なくなってきた		若い方で結婚を望む方がおられるなら出会いの場とかを考え、のちのフォローもする		建設水道	C
5	若者が転入できない		地区で集いの場があれば、若い方たちにも参加してもらい、活動の場を広げ、それが出会いの場になれば…と思う		市民福祉	C
5	一人暮らしの家庭が多くなっている		結婚されている若い方には、育児のフォローをして出産を考えてもらえるようにするとよい		市民福祉	C
5	若い人との別世帯で、若い人が一緒に居住してくれない		魅力あるまちづくり		総務文教	A
					市民福祉	C
					建設水道	C
5	若者に魅力がない町		若い人が参加できるイベント		総務文教	A
5	子供の遊び場がない				市民福祉	C
5		建設水道			C	
5	20年後600万人、全国の認知症患者を井原に	就職・仕事	市が積極的に企業誘致を行う		建設水道	C
5	就職先が少ない		地元企業への支援		建設水道	C
5	大手企業誘致		地元産業のアピール		建設水道	C
5	地元の企業に就職したが、東京勤務が続いて帰ってこれない		人口増対策と経済効果(衣食住⇒医職充)全国のアルツハイマー(認知症)患者を井原市に迎え、佐々木先生とタイアップでひとつの経済区(町)を作る。大学を誘致したのと同等の効果がある		市民福祉	C
5			若い人が働ける企業を…		建設水道	C
5			子供がいても働ける…		市民福祉	C
5			地場産業をアピール		建設水道	C
5			若い人が集まり、仕事ができる場所		建設水道	C
5			大企業の誘致		建設水道	C
5			Uターンしても生活できるように		建設水道	C
5			大企業を誘致すること		建設水道	C

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(高屋地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」	振分先委員会	分類結果
5	住宅団地(安い)	居住	住宅団地を作ればよい	建設水道	C
5	空き家が多い		空家を登録してもらい、市外から入居希望者へあっせんする。(日本でも災害の少ない住みやすい所とアピールする)	建設水道	C
5	市外からの入居の手伝い		被災者の人たちに家を貸す	建設水道	C
5	空き家が近所にあるのが気になる		市営住宅等の安い住居を増やす	建設水道	C
5	被災者に家の提供		空家バンク、地域の活動・交流などに活用できるよう考える	建設水道	C
5	空き家が多いが手入れが出来ず荒地が多い				
5	出産費用を無料に	希望(子供)			
5	子供を作る要素のない町				
5	昔の山陽道がいかされてない、国道2号が笠岡市へ通っている	希望(環境)			
5	東京都が井原市へ移転すればよい				
5	お年寄りが気軽に出かけられない、交通手段	その他			

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(大江地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
1	農業の担い手が少なく農地が荒れていく	町おこし	初めは強制的に各地より数名選出し活動する。それを中心に人数を増やす。		建設水道	C
1	特産品開発		ウコン・ニンニクをしっかりとアピールして、特産品にするとともに、協力してくださる方々をしっかりと増やして、全国に向けて発信。みんなで出来る特産品を考える。協力隊の方々を増やし、いいアイデアを出してもらい町おこしをする。		建設水道	C
1	観光資源の活用。嫁いらず観音の活性化		1. 特産品の開発(ニンニク・ウコン) 2. 協力隊を集める。(地区内、地区外) 3. 国の制度の活用 4. 嫁いらず観音の活性化、岡田屋を復活、大江の特産品の販売、軽食コーナーを常設し、いつでも活用できる体制に。		建設水道	C
1	井原の魅力を全国に向けて発信していく		周辺地域と重ならない大江独自の事柄、産物を選ぶところから始める。		建設水道	C
1	移住しやすいように空き家を市が買い取り、改造して転入者に10年無料で提供する。					
1	都市から人を呼ぶ為には、魅力ある生活環境作りが大切。収入源が必要					
1	子育てにお金がかかるため、少子化になるのでは。	子育て	都市から帰ってきた人や、転入したい人には補助金を出す。空き家の提供等積極的に行う。農業に従事したい人には土地を提供する。		建設水道	C
1	子供の教育費が高い		医療費の一部免除・増額。婚活パーティーの回数を増やす。		市民福祉 建設水道	C C
1	生活面でお金がかかりすぎる		結婚支援をすることが必要。子ども手当(出産祝い金、子育て支援等)の充実。もう少し費用を↑するとか。安心して子育てができる環境づくり。低所得者層も安心して子供を産み、育てられるように。		市民福祉	A
1	親との同居を好まない子が多い		結婚していない子、子どもを産まない人が一人でも減るように、一人一人が大江の将来、日本の将来を担っているんだという事を小さいときから教育しなければいけないのではないのでしょうか。当たり前の事なので自然に。井原市は子育て支援金や医療費無料など素晴らしい制度があり、子育てはしやすいと思います。		総務文教	A
1	将来は結婚して子育てをするという自然な気持ちになれるような教育が必要					



○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(大江地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	1組のカップルが3人以上子どもを持たないと↓	結婚				
1	結婚していない若者が多い					
1	出会いの場が必要なのでは					
1	地域に子どもがいない					
1	結婚しても子どもができない					
1	独身者を全員結婚させる(30才以上が多い)					
1	大江より市議会議員が2期出ていない。来期は1人出すこと。	必達事項	40~50代の人より選出し、少なくとも3期は務めてもらうようにする。支援は町全体で行う。60才の定年組の中より選出する。バランス感覚のある人の選出。		広聴広報	C
1	若者の働く場所が少ない。	雇用				
1	市内に働く場所がたくさんあればいい。					
1	雇用↑には収入↑が必要不可欠。					
1	どうしても近隣の都市へ働きに出ています。交通の便で転出も。					
1	雇用が少ないので、もっと雇用を増やして若い人が働ける場をつくる。					
1	地域行事が多い、又は手間ひま取られるため、若い人は参加しにくい。	若者・ボラ ンティア				
1	若い人は仕事が忙しく、地域行事に参加しにくい。					
1	クリーンキャンペーンの時に若い人が少ないので、集まりが悪い。					
1	楽しいことが必要。	老後				
1	老後の経済的面で不安。					
1	老後子どもに見てもらうことが迷惑に思う。					
1	夫婦でどちらか1人亡くなると、後が心配。					
1	車がないと生活が現実。自分が乗れなくなったら自由に動けなくなるのでは?(心配)					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(大江地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
1	隣近所の付き合いが少ないように思える。	付き合い				
1	個人情報先立って物事が進まない。					
1	同年齢同志で付き合い方ができるか。					
1	各種制度と結果が伴っていない。	制度				
1	子どもの数が少ないので、お祝い金みたいな物があればよいのでは					
2	市営住宅の建て替え。	市営住宅	市営住宅の修理をお願いしてもなかなか難しい。いい返事がもらえない。議員さんをお願いしてもらいたい。		建設水道	C
2	住宅の修理をしてほしい。		老朽化により建て替え。先進的な快適住宅を建てる。		建設水道	C
2	市営住宅に若い人を入居させる。		床のゆがみ等時折見回ってほしい。		建設水道	C
2	子育て支援の充実	子育て	子供が少ないのに預かるところが少ない。働く人の子育て支援、どのようにしたらいいかわからない。子どもを産みやすい環境を作ればよい。核家族が増えて、子どもを預けなくては仕事ができないため、たくさん産めない。		市民福祉	C
2	子供の事を考えた施設が少ない。		長時間の預かり。		市民福祉	C
2	生まれる子供が少ない。					
2	働く場が少ない	就職先	大型商業施設の誘致。		建設水道	C
2	働く場が少ない		地元の職場の求人先を増やしてほしい。		建設水道	C
2	地元で働く所が少ない。					
2	働く場の提供					
2	仕事をする場所が少ない。					
2	大学へ進学すると帰ってこない。	若い人が帰ってこない				
2	若者がUターンしない					
2	都会へ出ていくと帰ってこない					
2	帰ってきて居心地がいい場所にする。					
2	大型商業施設が少ない	これからこんなのあったら				
2	新しい、目新しい人が引きつけられるようなものが欲しい。					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(大江地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」	振分先委員会	分類結果
2	若い人を中心としたイベントを	これからどうしたらいいか			
2	市の活性化				
2	他の土地から人が来ることを誘う。				
2	どんどん若い人の考えを取り入れたようなことをする。				
2	子供が結婚しない。	結婚			
2	子供が結婚しない。				
2	結婚していない人が多い。				
2	交通便が少ない。	交通の便			
2	車がないと動けない。				
3	会社等働く所なし。	働く場	個人ではどうにもならない。 ----- 会社はないけど専業農業者はいるので、ぶどう、米等生産している所への人材派遣を市の援助、協力で費用を払って人材を集める(シルバーではなく。) -----	建設水道	C
3	会社誘致が出来ていない。				
3	農地への協力者を市からの援助で				
3	お店がない、あってもさびれている				
3	金がない、仕事がない。				
3	農機具の集約した場所により、農業経営を計画する。				
3	親の顔を見たくなく外へ出る。			訳あり家族	
3	年寄りの面倒を見たくなく、早くから出る。				
3	結婚しても同居しない。				
3	帰ってきてても町の付き合いがめんどくさい。				
3	地域の付き合いをほどほどに。				
3	結婚するとお金がない、きついイメージ。				
3	家を継ぎたくない。				

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(大江地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」	振分先委員会	分類結果
3	小学校の通学バス	交通	小学生の通学バスを走らせ、親の負担を減らしてほしい。 大江町内に保育園を作り、仕事をしている人が働ける時間を作る。7時～19時保育。その家族の送り迎えの巡回バス(小型)を回してもらおう。小学校も送迎が必要。(じいちゃん、ばあちゃんがしている。)	総務文教	B
3	交通の便が悪く家を出る。			市民福祉	A
3	小さい子供の送迎のバスを走らせる。				
3	巡回バスの経路が病院に行かない。				
3	あいあいバスを小さくして細かく回る。				
3	安い地価で家を建てやすくする。	土地・家	空き家の古民家を改修して、有効利用する。	建設水道	C
3	住むところがない。				
3	空き家を壊して更地にして土地利用し、イベントを計画する。				
3	空き家の利用が全くない。				
3	田舎のため外へ出る。				
3	専門医がなく外へ出る。	病院			
3	市内に産婦人科がない。どこで出産するのか。				
3	大学がなく若い人が外に出る。	学校			
3	保育園が大江にない。				
3	結婚、出会いがない。	結婚			
4	最低賃金の値上げ。	職業(働く場)	トップセールス活動の更なる充実。優遇制度の充実。	建設水道	A
4	仕事(求人)が少ない。				
4	若い人が出ていく。				
4	企業誘致をする。				
4	地元で働く場が欲しい。				
4	医療機関専用団地の設置により、より良い医療を受けられるようにする。	医療機関	行政と現場の話し合いの充実を図る。市議の積極的な取り組みが必要。	市民福祉	C
4	20才まで医療費無料。				

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(大江地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
4	婚活の世話をする人を見つける。	婚活	婚活パーティーもやっているが、PRが足りず参加者、希望者が少ない。もっと大々的に宣伝をして、いろんな人知ってもらわないと増えない。井原以外の人手も呼んで、住むときに住宅手当等を出して、住んでもらいやすくする。市役所に婚活課を作ってしっかりくっつけてもらう。		建設水道	A
4	男女の出会いの機会を増す場を設ける。		テレビでやっているようなイベントをやる。			
4	井原市内で独身者が何人いるか調査する。					
4	子育て支援の充実を図る。	子育て				
4	シェアハウスの設置。	住まい				
4	移住希望者がいたら住宅を地元で作る。					
4	低所得者用の住宅建設に若者の入居を図る。					
4	公営住宅をもっと作る。					
4	ジーンズ団地の設置。一か所に集約し購入者を集客し、雇用の創設を図る。	特産品のPR				
4	福山、笠岡、井原間の道路の整備を図る。	交通網				
4	交通機関の充実を図る。					
4	学費を補助、高校まで	大学				
4	学校(大学)を作る。					
4	魅力ある介護施設の充実による、若い介護士さんの定着。	介護施設				
大江	地元の人達の暖かい大きな援助が必要。	その他	市議会議員の後押しが必要。地元選出の議員が望ましい。		広聴広報	C
5	外国人労働者の活用。	働く場の確保				
5	雇用の拡大、企業の誘致。					
5	Uターン就職が出来る企業の誘致。					
5	魅力的な職場					
5	企業を増やして税金を安くする。					
5	若者の流出(転出)。					
5	安定した職業についていない。					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(大江地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
5	大型商業施設の設置	町おこし	農耕作地の有効活用を考え、新産業の企業誘致を促進する。		建設水道	C
5	井原駅前の活性化		工業団地を新しく作り、企業誘致を図る。例えば地域の良さを知り、それを特徴付けて産業にする。(馬路村の様な)		建設水道	C
5	若い人が減少している。		工業団地を新しく作り企業誘致を行う。工業団地までの交通手段の整備。		建設水道	C
5	若い人が出会う機会が少ない気がする。		井原での起業がしやすい税制面での対応。補助制度の導入。		建設水道	A
5	観光産業を活性化して、井原に来てもらう。		企業の誘致。年間通して来てもらうところが欲しい。井原駅から移動できるような方法も。新たな施設を増やすのではなく、今あるところを発展させたり、特徴を明確にして産業とする。		建設水道	C
5	大学設置	教育の充実	工専の様な井原市が得意とする分野の教育を深めることで、産業も発展するのでは。		総務文教	A
5	学校(高校、大学)		大学の設置は難しいかもしれないので、専門学校施設の設置から。		総務文教	A
5	学校教育の充実		公立、私立に関わらず新たに学校が出来れば、必然的に若者が増えると思う。それが大学ならば、働き手も増えるのだから、それにとまって町がにぎやかになるだろう。商機があると思えば、飲食店も増えるのでは。井高を中高一貫教育にする。		総務文教	A
5	子供が成長する為に、生活費が掛かりすぎる。	生活、お金				
5	将来への不安(年金等)					
5	核家族で生活に余裕(時間)がない様だ					
5	幼稚園の無料化					
5	現在社会に対応するためには、給料が少ない。					
5	公共交通手段が不便	公共交通				
5	電車とバスの便を増やす。					
5	地域の良さを知る	郷土愛				
5	団地を作る	住む場所の確保				

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(稲倉地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
1	雇用の充実、魅力ある企業の誘致	雇用	雇用の場を作ってほしい		建設水道	C
1	災害の少ない利点を活かすこと					
1	働く場所の確保					
1	地域のことを考える場・人が少ない	人の世話	おせっかい人がいない(必要だ)		市民福祉	C
1	結婚相談所を設ける				建設水道	C
1	おせっかい人がいないため、婚活、子育て等で若い人は面倒くさくなる。					
1	考えはあっても(ソフト)実施(アクション)特にハード面をする人がいない					
1	子どもが遊ぶ場所がない	遊びの場	子どもが遊ぶ場所がない(親や先生が制限する)		総務文教	A
1	放課後、ケガを恐れず遊ばしてほしい					
1	稲木川の清掃(子供たちが川に入って遊ぶ)					
1	大学進学で流出する	その他				
1	大学を作って都会への流出を防ぐ	その他				
1	教育の無償化 財源は税率up	その他				
1	2世代、3世代世帯への奨励、援助	その他				
2	子育てに費用がかかりすぎる	何故子供を産まないか	経済的理由		市民福祉	C
2	経済的に不安定な為結婚できない				市民福祉	C
2	仕事と育児の両立が困難				建設水道	C
2	晩婚・未婚化している				市民福祉	C
2	0歳児からの保育所		子育てと仕事が両立できない ゆとりがない 時間、お金		市民福祉	C
2	何故子どもを産まなくなったのか	未婚はなぜ多いのか	将来の見通しが立たない		建設水道	C
2	子どもが減って3年後50人体制となる		その気がない		建設水道	C
2	学校の将来像を今から検討すること		出会いの場がない		建設水道	C
2	出生数の分析をすること		夫婦で子育ての自信がない		市民福祉	C

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(稲倉地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
2	雇用の場の確保	若者定住の 促進	優良な企業誘致		建設水道	C
2	学校卒業後、地元に戻る環境		派遣・パートが多い、正規雇用が少ない		建設水道	C
2	20,30年先の見通しが立たない		20年先が見通せない		建設水道	C
2	転出した人の内訳を把握すること		老人の生活環境の整備		総務文教 市民福祉	A C
2	安全・安心できる環境の整備	その他				
2	住みやすい住環境の整備	その他				
2	医療・福祉の充実	その他				
2	高齢者の集団生活できる場所	その他				
2	32000人になった時の財政状態も示すこと望む	その他				
3	病院がない	子育て	子どもが安心して生活できるようにする		総務文教	A
3	一家族当たりの子どもの数が少ない		遊び場の確保		市民福祉	C
3	子どもの遊ぶところがない				建設水道	C
3	産婦人科がない	雇用など				
3	未婚者の増加					
3	企業誘致、工業団地					
3	I,Uターンの受け入れ					
3	全世代、ターゲットが見えない					
3	企業が少ない					
3	住みよいまちのPR不足	コンビニ				
3	スーパーがない					
3	コンビニがない	その他				
3	住宅地の造成	その他				
3	休耕地の活用	その他				
3	小学生の通学路	その他	通学路の安全		総務文教	B



○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(稲倉地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」	振分先委員会	分類結果
4	病院が近くにない	医療環境	(市の予算で)夜間診療などの充実をしてほしい	市民福祉	C
4	病院がない				
4	産婦人科がない				
4	18時以降、夜間小児科がない				
4	店がない	生活環境の問題	移動販売をしてほしい	市民福祉	C
4	コンビニがない				
4	お年寄りが気軽に歩いて行けるお店がない				
4	仕事がない	就職の問題	土地はあるが会社が少ない 大企業の誘致	建設水道	C
4	働く場所の確保				
4	若者が地元に戻る必要性を感じない				
4	高校が少ない	その他			
4	子どもの減少が進むと役員をすることが多くなり、だから地元に戻らないといわれる人が多い	その他			
4	交通の便が悪い	その他			
4	バス停が遠い	その他			
4	市営住宅を増やして	その他			
4	市営住宅に人が入っていない。原因を考えて	その他			
4	市営住宅の老朽化	その他			
4	古民家、空き家を再生し、税金を3年間なしとかするとよいと思う	その他			
5	(若い人がいない)、雇用場所がない(事業所が少ない)	雇用問題	企業誘致の促進 高速道路へ接続(アクセス) 競馬場等造る	建設水道	C
5	働く場所(工業)				
5	働く場所がない。若い人が出て行って帰ってこない				
5	高齢者の働く場所がない				
5	事業所が少ない				
				総務文教	C

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(稲倉地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
5	買い物難民	地域の課題	アパート、住宅建設、宅造		建設水道	C
5	役を引き受けたら後がない		----- コンビニ、スーパーの誘致		建設水道	C
5	コンビニない		----- 高齢者の買い物支援		市民福祉	A
5	アパートがない		----- 役員の伝承		市民福祉	C
5	スーパーがない		-----			
5	バス停までが遠い		-----			
5	市営住宅の建て替え(匠住宅)		-----			
5	コンビニがない、人が集まる場所がない		-----			
5	国保税が高い	行政問題	議員がしっかりすること		広聴広報	C
5	行政の怠慢		----- 職員の創造性		総務文教	A
5	結婚・出生率の減少		----- 計画性をもって、総合計画の検証		総務文教	A
5	稲倉は閉鎖的		-----			
5	農地が荒れる、後継者がいない、不採算	その他				

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(県主地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	地元に戻って来る人がすくない	生活	人口減少のモデル地区を作る		建設水道	C
1	結婚しても町内、市外に住む人が多い		生活の基礎として収入増を考える		建設水道	C
1	組内の草刈り(春・秋)人がいない		近所のつながりを大切にする		市民福祉	C
1	後継ぎのいない家が多い		声かけや、定期的な訪問		市民福祉	C
1	人が少なくなり役が重なる(学校・地区)		助け合い事業の充実		市民福祉	C
1	コンビニが無い		学区を少なくして親の働く場所の近い学校へでも通えるようにする		総務文教	A
1			小学校を減らして財源をうかす		総務文教	A
1			草刈りを市に委託する		建設水道	C
1	仕事、働く場所		仕事(収入)	新しい事業への助成を増やし、起業しやすくする		建設水道
1	地場に魅力的な企業がない	企業積極的に誘致するため、工業団地の造成をする		建設水道	C	
1	新しく会社が出来ない	企業を市内に誘致し、若者が地元で働ける環境を整備する。企業が増えれば、市外・県外からの転入者も増え、井原に定住する人も出て来る		建設水道	C	
1	井原市に働く場が少ない	給料が高ければ人は寄って来る		建設水道	C	
1		住む所がある		建設水道	C	
1		岡山県は災害が少ないところだという事をしっかりとアピールして人を呼ぶ		建設水道	C	
1		市が企業誘致		建設水道	C	
1	一時保育の充実が必要	結婚	結婚しない税を取る(20~40位まで)		建設水道	C
1	独身者が多い		若い人の出会いの場を創設する		建設水道	C
1	子供が結婚しない		若者の出会いの場や昔のような縁談を進める人を育てる		建設水道	C
1	結婚(独身者)の対策(お世話おばさん)		出会いの場を作る		建設水道	C
1			青年団活動		総務文教	C
1			合コン		建設水道	C
1			未婚税		建設水道	C
1			子供が生まれたら支援金をしっかりと出す		市民福祉	A
1			個人情報厳しくしすぎた		総務文教	A

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(県主地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	県主に新築の家が建たないのはなぜか?	市議会にお 願い				
1	公共交通機関が発達していない					
1	国保があまりにも高すぎる!					
1	家が建てれない(田んぼ)					
1	教育費が高く、支援されたい					
1	病児保育施設が充実していない	子育ての問 題				
1	出産、育児に休業制度がとりにくい					
1	子育てに経済的支援が少ない					
1	育児をしながら働くことがむずかしい					
1	子育てがしにくい	その他				
1	閉鎖的な地域である					
1	住宅(空屋)、住む家	結婚	仲人の復活	建設水道	C	
2	若者(子供)がなかなか結婚しない		市単位の仲人組織は有るが、一番良く地域の人があることを知っ ており、地元で組織づくりをする(プライベート重視して!!)	建設水道	C	
2	息子(次男)が結婚しそうにない。福山に出た		親とのコミュニケーションが足りないので、図ること(親の経験 も話したりできること)	総務文教	A	
2	仲人組織の設立		おせっかい友人をつくること	建設水道	C	
2	高齢化して独身者が多い		少子化			
2	親と同居している					
2	人のめんどろを見るのが嫌い					
2	出張が多い					
2	生徒数が少なくなり、学校運営がままならない		居住環境			
2	地元の子供がいなくなる。今はいるが。跡取りのいない家が多い					
2	井原市に遊ぶところが少ない		居住環境			
2	遊ぶ場が少ない					
2	適当な大きさの遊ぶ場が少ない					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(県主地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」	振分先委員会	分類結果
2	若者が都会、町に出て帰って来ない	いなか に帰 らない			
2	1人暮らしが好きだから				
2	息子が帰るのを嫌う。町の生活の方が楽と言うことらしい				
2	空家利用をし、市外からの人口増を図る				
2	井原市の住みやすいところがわかっていない(若者)				
2	高齢者の一人世帯が増えている	高齢化			
2	老人のみの世帯が増えている				
2	農業(稲作)を守る。法人の将来のにない手に不安				
2	グラウンドゴルフの活動が活発で皆明るい(60~70代の人)				
2	85才以上はすべての役をなくすること				
2	80才すぎても自治会等の仕事が多すぎて毎日が疲れることが多い	働く場	井原市の組織に企業誘致。もっと積極的に! ----- 子供の進学が多いので、もっと井原市のよさを教育する ----- ●●●の進学校のみが誤り -----	建設水道	C
2	こずかいが減る				
2	給料が少ない				
2	住宅が狭い				
2	若者の働く場所が少ない				
2	基本目標①~④言葉の上だけでなくより具体的に	無			
2	より効率的に地域活動が出来る組織づくり。少子高齢化に対しても				
3	田んぼで遊んでいる子が少ない。おこられる	農地の活用 の問題	若い世代が、他地区へ流出しているため、複数世代の同居。二世 代住宅の建設に行政的な支援を試みる ----- 世代を超えた第6次産業の推進。地域総出での取り組み ----- 農業を楽しめる方法を考える。農業はしんどいではなく楽しい と感じてほしい。感じてもらう方法を考える ----- 井原市が道の駅を作り、そこに作った野菜を持っていき売り、農 地の活用をする ----- 地域で農業を進めていけるよう何かできないか?	建設水道	C
3	畑が荒れて木が生えている。いのしが家の近くに出るようになった				
3	田が荒れて雑草が生えたままになっている				
3	減少しているが、昔はどうだったのか?				
3					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(県主地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
3	若い人が少ない	人口減少問題	日当たりが良い山を切り開いて住宅地を作ってほしい		建設水道	C
3	町民運動会を西方vs門田にしてしまえば選手選びが楽なのに		若い人が帰って来れる勇気が持てる地域づくり		市民福祉	C
3	体育祭の年代別リレーが行えなくなっている。きびしい		元々地元の人ではない人をあたたかく受け入れられる気質を1人1人が持つ		市民福祉	C
3			年寄の方は、若い人のやり方につべこべ言わない。(厳しい目を持って優しく見守ってもらう。事は大事だけど、その時その時で柔軟に対応し、変化しなくては)		市民福祉	C
3	子供の人数少ない(小学校、幼稚園)	少子化問題	2人目の子供にお祝金30万、3人目の子供にお祝金50万		市民福祉	A
3	若い人が住みたいと思う環境。学区外に出るにはなぜ?		じいちゃん、ばあちゃんが孫のもりをする。その時、市の施設を利用する時は無料にする		市民福祉	C
3	「県主は色々あるから大変なんじゃろー」と言われる(子育て世代に)町づくりとか役員をしなくてはいけないとかだと思ふ				総務文教	A
3	保育園にあずける人が多いのは幼稚園が大変というイメージがあるかららしい。県主幼稚園の子供は少なすぎる!		不便を楽しむまちづくり		市民福祉	C
3	小学校の生徒数が減り複式授業になるかも				建設水道	C
3	県主小学校の子供が減っている(自分の頃と半減しているのでびっくりしました)					
3	私の小学校の同級生で地元にいるのは、私を含めた2人です					



○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(県主地区)

班番号	第1の作業		第3の作業	振分先 委員会	分類 結果	
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
4	若者に対して魅力がない	婚活問題				
4	独身ちょっと多い					
4	介護の支援が難しい	地域の問題				
4	地域の交流					
4	道づくり、草刈り等身体的負担が増えている					
4	新しい家をもっと建てれば	生活関連の 問題	地元に戻っても働ける、生活出来る環境を作る	市民福祉	C	
4	市営住宅(アパート)増えないかない			建設水道	C	
4	街灯が少ない					
4	荒れ地が増えそう					
4	空き家が増えている					
4	危険な場所が多い					



○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(木之子地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題（付箋紙のグループ） について書かれた「解決策」			
1	大きい子がいないので孫が小学校へ通うのが心配	子育て	コミュニティスクールが文科省から提唱されて県下でも具体化してきた。学校と同じ力をもつ教育支援団体を木之子でつくってはどうか。この団体は、幼・小・中の学習支援と共に学習内容・方法についても権限を持たせる。		総務文教	A
1	子どもを預けて仕事ができる環境をつくる		地域（地元）の企業（働く場所）と話し合いの場を設ける（子育てサロン等）		市民福祉	C
1	地域で子育て支援を行う		公的支援充実（もの・金）		市民福祉	C
1	地域全員で子育てするセンターを開設する		施設の充実		市民福祉	C
1	地域での仕事がとても少ない		若い人が住める環境をつくる（自然・職場・住宅）		市民福祉	C
1	地場産業がもっと元気になってほしい（工業団地があるが）				建設水道	C
1	「安全・安心の町づくり」は重要な課題として取り組んでいる（ex. ネットワークづくり）					
1	木之子町の魅力は子育て環境（学校が多い）に比較的恵まれているので、もっと生かしていこう					
1	子育てしている親の話し合いの場を作る					
1	教育問題					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(木之子地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題（付箋紙のグループ）について書かれた「解決策」			
1	隣近所は年寄りばかり	集いの場	近隣相互のきずなが弱くなり、相互扶助の力が失われている現状から60歳代の人を中心に各地区に組織（ネットワーク）をつくる		市民福祉	C
1	家事から離れてウサバラシする場所が必要（相談する）		現に、惣谷カフェなど具体的な組織と活動がうまれており、希望がある。		市民福祉	C
1	世話人が必要		各地区ですることとして、1. 話し、2. 体操、3. 行事（惣谷カフェ）などが考えられる。年齢をこえて協力していけば、いい「集いの場」が生まれると思われる。		市民福祉	C
1	助け合った生活が出来なくなる		各地区、公民館で地域住民の（企業・シニア・子育て中の親）等で懇談会等を設ける		市民福祉	C
1	女性の集まる場所がない（公民館とは別）		一日中家から出ず、子どもと居るのは大変である。ノイローゼになる。そこで、家から離れ、子どもと共に一カ所に集まり、数々の悩みを皆さま方と話し合い、悩みを解消する方法		市民福祉	C
1	世話人に払う金が必要		コミュニティー活動策の推進（老若男女の参画）		市民福祉	C
1	地域行事に多くの町民が参加しているが、この良さを町づくりに生かしていきたい（今年は夏祭りに高校生ボランティアが参加した）		集まる場所は歩いて行ける近くがよい。そこへ行けば、1日自由に過ごせたと感じる様な内容にする。		市民福祉	C
1	古い伝統行事の再興、コミュニティ活動					
1	各地区の公民館を活用して、気さくに集まって話をし、知恵を出し合おう					
1	住人相互の「きずな」の醸成（育成）					
1	人口増加施策の具体事項の不詳	人口問題	未婚の人たちの色々な活動の場を設ける		建設水道	C
1	若年減少と高齢化対策		市外、地域外からの流入施策（PR）		建設水道	C
1	畑をもりする人がいない		企業、人（若者）		建設水道	C
1	人口減少要因、原因は何に？				総務文教	A
1	出産（子ども）がどこも減っている（木之子は若い人の割合が多いが）		町興策（イベント）		市民福祉	C
1	男女、特に青年の活動の場をつくる				建設水道	C
1	医療（公的）機関の整備（安心・安全）		医療の充実（機関等）		市民福祉	C
1	税金が高くなっていくような・・・	生活				
1	楽な生活が送れなくなるように思う					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(木之子地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
1	市外へのPR	地域のPR				
1	「住んでみたい町」でアピールできるものが少ない					
1	住宅を多く建てる					
1	住みよい環境整備					
2	企業誘致(井原の利点がわからない)	働く場所	企業誘致(優遇業者)に積極的に取り組むことにより若い人が井原市内に住居を持ち増えることがまず1番!		建設水道	C
2	若い人が積極的に地元へ帰れるよう企業誘致を!		企業誘致は井原の利点を明確にする		建設水道	C
2	企業誘致		ジーンズ産業を全国区にする取り組み(児島に負けている)		建設水道	C
2	企業の誘致がない		企業誘致も大切だが、視点を変えて、福山地区・倉敷地区のベッドタウン化を目指すのも一つではないかと考える		建設水道	A
2	働く場がない		企業誘致		建設水道	C
2	働く場所が少ない(特に若い人)		賃金を他市並みにする(給料を上げる)		建設水道	C
2	子どもに井原が働きやすい所であることを理解してもらう		企業の給料を上げてほしい		建設水道	C
2	企業の給料が安い		企業誘致		建設水道	C
2			現在ある市内の材料を再検討し働く場所とする		建設水道	C
2			高齢者の雇用促進		建設水道	C
2	井原の中心が不明(人が集まる場所)	コミュニケーション	なんでも話し合える雰囲気を作る		市民福祉	C
2	プライバシーを気にするため横のつながりがなくなっている		なんでも話し合える場所(機会)を考える		市民福祉	C
2	核家族化していること		サロン、カフェをもっと盛んにする(結構年寄りがかかるよ)		市民福祉	C
2	自治会等役員をする人が少ない		地域内に住んでいる人が日頃から十分なコミュニケーションが図れるよう色々な行事や気軽に近所づきあいができることが毎日楽しく住んでみたい地域となるのでは!		市民福祉	C
2	人とのまじわりの度合いが減ってきている(都会並みになっている)		人の集まる場所をつくる		市民福祉	C
2			市内に人が集まる場所がない(点でしかない)		市民福祉	C
2			井原駅からバスセンター通りの開発が必要と感じる		建設水道	C

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(木之子地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
2	無人の家屋が増加している	生活環境	放棄田・畑の再利用		建設水道	C
2	道路に不法投棄		河川の中洲の雑木等の撤去		建設水道	C
2	イノシシが多く出る		野生動物に対する施策を考える		建設水道	C
2	住宅が建設されていない		交通の便を有効利用(宣伝・PRをする)		総務文教	B
2	公地の雑草処理ができない		井原鉄道の駅の駐車場の拡充		建設水道	C
2	イノシシ、猿等の野生の動物の被害が増加している		道路・水路の整備や田・畑・山林など荒廃地を少なくする		建設水道	C
2	交通の便が悪い		住みたい、住んでみたい環境づくりを!		総務文教	A
					市民福祉	C
					建設水道	C
2	畑他の荒れたところが増加している		公地の除草くずの処理を無償としたらどうか		市民福祉	C
2			イノシシ、サルを駆除してほしい		建設水道	C
2			交通の便をよくする		総務文教	B
2			税を安くする		総務文教	A
2			井原線が高い		総務文教	B
2	40歳代の独身男性(出会いの場)		子ども・子育て			
2	子どもの数が少ない					
2	子育てに積極的な支援策を!女性が安心して働けるように!					
2	30~50代の未婚者が多い					
2	子どもの声が聞こえない					
2	中学生の質が落ちている(教育)					
2	一人暮らしの老人の家庭が多い	高齢者福祉				
2	老人の比率が増えている					
2	世話になりたがらない老人が結構おられる					
2	住みにくい(物価が高い)					
2	医療費が高い					
2	介護保険が高すぎる					
2	健康保険料が高い					
2	観光コースが少ない(点でしかない)	観光				

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(荏原地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	空き家が多い	後継者がい ない	子供が結婚しない。一人で生活する方が気を付けなくてよい 空家のリフォーム。耕作放棄地の有効利用(子供たちに作らせ る、体験等)		建設水道	C
1	空き家増				総務文教	A
1	近所の安否確認など、今までなかった事に苦勞する				建設水道	C
1	耕作放棄地					
1	荒地が増えるばかり					
1	空、土地、田、畑					
1	お寺がいつまで続くか?					
1	地域の役を特待の人が長くしなくてはならない					
1	地区の自治会活動に対して、市も積極的に対応する必要があるのでは					
1	地域の活動継続が難しくなる					
1	結婚に夢がないのか	少子化	結婚しないので子供は望めない 魅力ある出会いの場を増やす。スポーツの強化。 365日24時間対応の小児科救急病院と、産婦人科の開設。市民病 院は総合病院でなく、民間医療機関が取り組めない分野に特化す る。子育ての安心、若い父母を応援する。 医療施設(含む産婦人科)の創設。市民病院で。赤字になっても よい。井原に戻ってくる環境づくり。 子供を育てやすい地域づくり。子供と親に温かい地区民。子供を 中心に、親と学校と地区民の絆を強める。みんなで楽しく仲良く 心を開いて交流することを増やす。		建設水道	C
1	結婚していない人増				総務文教	A
1	子供の人口減				建設水道	C
1	子供数減、若い人が他へ家を建てる				市民福祉	A
1	子供の教育環境が弱い				市民福祉	A
1	少子高齢化対策について				市民福祉	C
1	教育がある面プラス、ある面マイナス					
1	親の負担増(P役員)					
1	買い物が高齢化につれて困難が生じている	買い物不便	荏原地域に商店(コンビニ別)がない。移動販売車が1度来た が、その後話を聞かない。		市民福祉	C
1	買い物できる店の減少					
1	買い物が不便					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(荏原地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	地元企業に魅力が乏しい	企業不足	大企業でなくてもよい。中小企業(地元根付く)が進出しようとする対策。(立地、アクセス、税制面etc) ----- 優良企業を増やす。←働き口確保。地元にある優良企業の社長の話が聞きたい。(日本綿布、化繊ノズル、CP化成) バックアップ。地元民にプラスの事をして貰えないか「地元貢献」		建設水道	C
1	荏原地区に企業誘致を進めることが必要				建設水道	C
1	医療施設が不足(産婦人科なし)	病院				
1	病院、医院がない					
1	人の流れ(観光等)	人が出ていく				
1	井原出身の若者が井原に帰らない					
1	公共交通が弱い					
1	公共施設がない					
1	備南地域連携強化	その他	諸問題の解決を井原市単体で考えない。井笠地域で20万都市とし、国の地方創生の受け皿づくりをする。		建設水道	C
2	若い世代は地域行事に関心がない	若い人・子供	住みやすい環境づくり。地域に溶け込みやすい方策。 ----- 子供を育てる環境は、自然があり、地区の人のつながりもありとても良い。ただ、人数が少なすぎるうえに、若い人と地区の人のつながりがうすいので、新しく入ってきたひとはたぶんやりにくい。地区の行事は若い人は嫌がる。親が消防団の勧誘を断る。 ----- 若い人が定着せず子供が少ないのは、病院と企業(働く場所)が問題。この対策を行う。 ----- 荒地の整備、遊び場をつくる。		市民福祉	C
2	地域の労働力減				市民福祉	C
2	消防団に新入団員が入らない				市民福祉	C
2	若い人が少ない				建設水道	C
2	結婚すればお祝い金をする				建設水道	C
2	子供の遊び場が少ない					
2	子供がいない					
2	子供、出産すればお祝い金を出してもらいたい					
2	個々の生活が大事になっている					
2	子供の遊び相手が少ない					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(荏原地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
2	病院の問題(小児科、夜間)	病院	市民病院を検討してみる。手薄な部署の対応。救急、小児等。市民病院と呼べるものを。		市民福祉	A
2	夜間の小児救急がない		病院の問題は井原市のみでなく、笠岡、浅口、矢掛、里庄にわたり広域で夜間小児対応病院を作る。		市民福祉	C
2	病院のジャンルがかたより過ぎている		夜間の小児救急が無いというに、市内に内科、小児科が多いくせに乳幼児は見てくれない。市民病院は科によって、外部からの医者が来るが、いざという時に役に立たない。ここに行けば大丈夫な病院があれば、現在住んでいる人も、これから来る人も安心できる。		市民福祉	C
2	大企業を井原市	企業・働き 先	地区企業の給料の見直し。		建設水道	C
2	働く仕事先が少なく、給料も低め		井原市へ企業を。そうすれば若い人が働く場所ができ、人口も増えるのではないのでしょうか。		建設水道	C
2	企業誘致の具体策は?市、議会の動きが見えない		企業誘致は専門部会で考えていく。遊休地の活用を合わせて考える。当然減税対策をする。		建設水道	C
2	企業が少ない		ブラック企業でなければ良いので誘致。		建設水道	C
2	ここ10年の企業誘致の成果は					
2	市の策が見えない	市政				
2	交通便が少ない	交通				
2	利便性が低いので、町場に人が集中する					
2	自治会費が高い(入会金)	地域				
2	地域の高齢化					
2	案外福山地区から働きに来ている	外部からの人				
2	井原の特産がない(ブドウ以外、米のかわり)	特産品				
2	空き家対策、遊休地対策が出来ているのか	その他				

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(荏原地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
3	若者の定住には雇用(仕事)と出会い(結婚)環境(子育て)の整備が	若者問題	仲人さんの養成。企業の誘致。大学を作ろう。		総務文教	A
3	若い人が市外へ出ていく		----- 出会いの場をつくる。		建設水道	C
3	未婚者の増加		----- 職場の安定。		建設水道	C
3	自分には子供が5人いるが、子供を増やすには子ども手当が少ない。多ければもう少し産むと言っている。		若者の定住には、仕事、出会い、子育てなどの条件がそろわなければ、地域から出ていく。行政として総合的に考えてほしい。		総務文教	A
3	子供の減少	少子化	地域全体でサポート(土曜キッズ広場のようなもの)		総務文教	A
3	自治会に若い人がいないので、子供も少ない		井原に転入、出産でのメリットを作る。若者の住みよいまちづくりをする。		市民福祉	C
3	百姓の後継者がいない	農業問題	区画整理促進。共同による農業(収入、機械の購入)。シルバー活用による工夫はないか。		建設水道	C
3	鳥獣被害		自分で栽培した物を食する楽しみを味わってもらおう。		建設水道	C
3	耕作放棄地の増加		----- 市が積極的に相談に乗ってほしい。		建設水道	C
3	農家の減少		----- 米の値上げ。		建設水道	C
3	荒廃地の増加					
3	用水路の保全					
3	井原に大学がない	欲しい物	人口を増やすには、住みやすい地域にすることが必要。近くに店舗、医療、行政機関が欲しい。高齢で車の運転が出来なくなると、生活に困ることになる。		総務文教	A
3	荏原には店舗、医療機関、行政、教育に関する機関が皆無	その他			市民福祉	C
3	病院が近くにない	その他			建設水道	C
3	住宅(アパート)の数を。住みやすい価格でほしい	その他				
3	交通の便が無い(井原鉄道は高い、バスは無い)	公共交通				
3	老人の買い物に行く足が無い					



○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(荏原地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
3	古い家があり困っている	空家				
3	空家の増加					
3	人口増の行政の取り組みが見えない	その他				
3	ビジョン、総合戦略の目標はあるが、保障となる具体性に欠ける	その他				
3	井原に人が集まる魅力が欲しい(中途半端)	その他				
3	夏祭り(地区・市)若者が発散できる場がない	若者を大事にしていない	若者のリーダーの養成。リーダーの若返り。子育てしやすいしくみ、制度作り。		総務文教	A
3	若者が活躍できる場がない		若者の意見を聞き、実現、納得できる場をつくる。(例)市夏まつり⇒よさこいバージョンなど時間、評価できるように。		市民福祉	C
3	子育てしやすいまちづくり		集まれる空間づくり。		市民福祉	C
3	若い人が住みにくい所	住みにくい	多くの意見が出せ、参加者が納得できる場(例)まちづくり⇒ワークショップ形式に。		市民福祉	C
3	荏原地区が3本の矢になっていない		地域の行事や習慣を見直す時期が来ている。地域(自治会)情報公開。		市民福祉	C
3	子供の数が少ない	子供の数が少ない	住みよい町ができると若い人も定着し、子供も増えるのではと思う。住む家(市営住宅の充実)		建設水道	C
3	出生児が少ない		子育て世代が住みやすいまちづくり。支援ネットワーク。		市民福祉	C
3	市営住宅	住むところがない				
3	交通マナーを守らない	規則を守らない				

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(西江原地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	市の助成金を希望	子供	核家族	市民福祉	C	
1	地区の子供の数がどんどん減少している		遊び場がない	建設水道	C	
1	小さい子供が遊べる水場がない					
1	給料が安い	経済	就職口が少ない	建設水道	C	
1	空家の率が高くなっている	環境	空家が増えた	建設水道	C	
1	住みよい町だけど魅力がない					
1	地域の空家が多い事で、草等が生い茂って困っています					
1	各地区の住民が、小規模で、井戸端会議ができればいいなあ					
1	野生動物との共存は可能か					
1	へびの退治対策					
1	街灯が暗い					
1	公共の溝掃除等が行き届かない					
1	神戸川の整備					
1	公道の車のスピードが守れていない		道路安全			
1	道路に草がぐんぐん伸びて見た目が悪い					
1	自転車に乗ると、道路を走るのが恐ろしく、できれば歩道を走りたい					
1	カーブミラーが見にくい					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(西江原地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
2	子供の人数が減少し淋しい	若者の減少	高校を卒業と同時に、他県他市の大学、専門学校へと進学、その後社会人になる時において、Uターン、地元への就職はまずない。魅力があり、安定した収入、安定した生活が送れるような企業誘致なり、住みたいと思う病院、福祉の充実が必要ではないでしょうか。全てを良くするのではなく、これだけは井原市は絶対に魅力、自信ありをきめて「子育ては、医療の充実した井原市で！」		市民福祉	C
2	結婚する人が少ない		井原市では1日8時間以上働く人は正規の職員にして、給料を安定にし、結婚がしやすくする。給料が上がると購買意欲も上がり、税金が増えるのでは		建設水道	A
2	なぜ、結婚をしないのか		高校までに地域のよさに気づかせる取り組みをさせる。その成果を発表させる場を作る		建設水道	C
2	若い力のある人が少ない		地域に若者を住まわせるための振興策を整理し、その内容を18歳、成人式、22歳の時に、本人や家族に伝える		総務文教	A
2	働く場が少ないため、外に出てしまう		子育て世代に金銭的な策、安全安心の策を作る		総務文教	A
2	賀山では子供ができない。井原市全体に病院がない。産科、小児科		働く場所に自分に合った職場がない為、地域外に行く。		建設水道	C
2			働く場所を求めて町外に出て行ってしまうので、会社等の設置をすることで、若者が地域にとどまることが出来る。結婚する機会も増えてくる。		建設水道	C
2	一人暮らし世帯の見守りがなかなかできない。みんなが老人世帯だから		高齢化			
2	組長ができない家が多くなってきている					
2	高齢化になり地区で作業するのに困難					
2	地区の行事が出来なくなる					
2	賀山地区の高齢化で、行事等の開催が人数不足でできなくなっている。草刈、お祭りなど出られる人の負担増できびしい					
2	ひとり暮らしの家が増えている					
2	自治会の役割が果たせない家がふえている					
2	高齢者が多く、地区の行事がスムーズに出来ない					
2	車がないと生活が成り立たない					
2	組で一人暮らしの家が多くなってきている					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(西江原地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
2	危険な空家が増えている	自然との戦い				
2	サルがときどき出て野菜をとる					
2	猿が多く、耕作放棄地が増えている					
2	賀山地区にゲートボールとか老人の憩いの場となる場所がない	集いの広場	高齢者が一人暮らしをしている場合、サロンの集いの場があることで、いつまでも楽しく過ごせると思いコミュニケーションの大切		市民福祉	C
2	戸倉公民館が古い		だんだん一人暮らしの家が増えているので、皆でおしゃべりを楽しむ場を作って欲しい。だんだん車も乗れなくなるし歩いていける場所がよい		市民福祉	C
2			集会所が便利のいい場所にあれば良いけれど場所が悪い		市民福祉	C
3	働く場があること	企業誘致	企業が進出しやすい条件等の環境整備		建設水道	A
3	新規企業が立地しやすいように、税制補助や用地確保を行う		高校の専門科を設けるため、県市へ働きかけ、中期計画をたて予算を計上する。企業誘致を並行して行う		総務文教	A
3			観光地の推進して市のイメージをUPする		建設水道	A
3			山地や休耕地を利用し、大規模の用地を確保する。用地を必要としている企業の条件を前もって聞いて、用地が即収入に結びつくように宣伝活動を行う		建設水道	C
3			若者が適齢期に地元就職する事により、恋愛ができて人口増につながる		建設水道	C
3			専門性のある教育が出来て、将来地元で安心して生活可能な様にする		総務文教	A
3			優良企業を呼ぶ、魅力ある企業を呼ぶ		建設水道	C
3			地域の風土、気候等々の環境(井原市)を考え、それに適した産業、農業等々を皆(地域)で考え、井原市もそれをバックアップし、環境、人、産業、3拍子よしになれば、若い世代の結婚、出産、地域の皆さんが連携をとる		建設水道	C

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(西江原地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」	振分先委員会	分類結果
3	祭り等の地域事業の維持	地域の維持	高齢化、少数化にともない、時代の変更等により、必要性の少なくなった自治会活動、地域活動を少しずつ減らしていく方向で検討する	市民福祉	C
3	高齢化で若い人がいない。地域活動がやりにくい		これも結局、若い人が地元にいることが前提であり、雇用の場があることが必要である。結局働く所があることが必要。高齢化、若者の減少、収入、子育て、医療、地域のよさ	建設水道	C
3	回覧物の数が多すぎる		若い人が出て帰って来ないのは、町に対して多様な仕事、職種がないので、地域に対して、また住みやすいのと働きがいのある地域にする。希望が持てる井原市、また地域から流れを変えていくのが良いと考えます	建設水道	C
3	独身者が少なくなれば良い	若い世代の結婚、出産	結婚、出産、現状より手厚い補助金を出す	市民福祉 建設水道	A C
4	きれいな市営住宅	定住	赤字でもやる	建設水道	C
4	若い人の働き場所を創出する				
4	商業(大型) 娯楽施設がほしい				
4	病院、産婦人科がない				
4	産科、小児科等病院の充実と子育て環境の充実				
4	人間の生き方を、文科省が道筋を作ること	人口	人口の減少については仕方のない部分もありますが、それによって一人住まいの方々が増えて社会の安心安全が奪われたりするようになります	市民福祉	C
4	人口減少、なぜ悪い				
4	人口減少は仕方ない				
4	一人住まいの家がますます増える				
4	人口減少は仕方のないことです				
4	安全安心の社会が消えつつある				
4	戦争はいつ起こるのか				
4	猿、いのしし等の被害対策	農業	高齢化、耕作放棄地増、鳥獣被害等、NPO法人、株式会社、特区指定などによる六次産業の育成、促進、特産品、雇用問題、定住人口流入対策	建設水道	C
4	六次産業、NPO法人等新しい農業対策				

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(西江原地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
4	税金が値上がりばかりする(金がない)	金				
4	国家財政はいつ破綻するのか					
4	高収入の職場					
5	働く場所を増やす	企業誘致	働く場の問題、行政の問題であるが、今まで企業誘致の努力が感じられなかったように思う。とにかく、がむしゃらにいろんな優遇制度を使って、この一点に絞って努力して欲しい		建設水道	C
5	企業誘致		魅力ある企業の誘致、高校に専門科を設けるため、市県へ働きかけ、中期計画をたて、予算を計上、プラン、実施、チェックして		総務文教 建設水道	A A
5	高校生の就職先を増やす		人口減少に歯止めをかける案として、魅力ある企業(人、物)誘致、高校生の就職先を増やすこと、その就職先は魅力的な企業であることです。企業スポーツ(オリンピックを目指すことでの可能なスポーツ)の充実。		建設水道	C
5	魅力ある企業がない		誰もが大学へ入学する時代ですが、大学は都会にしかありません。都会に出た子供はその都会で就職、結婚し地元に戻って来ません		建設水道	C
5	高校卒業と同時に町を離れる		井原市内の高校へ普通科以外の専門科を創設し、卒業後、市内に就職できるような企業を誘致してはどうでしょうか		総務文教 建設水道	A A
5	企業スポーツの振興		魅力的な企業		建設水道	C
5	学校教育の充実、将来自活につながる学問、専門課程					
5	老人介護施設を増やす		老人介護			
5	現役世代と老人の役割分担によって子育てができるように、長時間保育長時間学童の受け入れ					
5	老人の介護が大変					
5	病院がない(産婦人科)	病院	産婦人科病院がほしい		市民福祉	A
5	病院の役割分担、終末期と急性期のすみわけ		夜間対応の小児科がほしい		市民福祉	A
5			子育て環境の充実		市民福祉	C
5	地区行事の簡素化	その他				
5	のらねこが来る					
5	蜂の退治					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(野上地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	充分生活できる所得がほしい	企業誘致	ベンチャーで起業しようとしているグループに案内		建設水道	C
1	会社を誘致(人がたくさんいる)		空き家等の場を提供		建設水道	C
1	井原に企業誘致してもらう仕事の間を作る		従業員を外から募集空き家へ		建設水道	C
1	仕事場を増やす					
1	IT産業の誘致					
1	健康に気を付けて	健康対策	たばこをやめて酒を1日1~2合位にしておく		市民福祉	C
1	安心できる老後施設への案内		毎日1時間程度散歩する		市民福祉	C
1	家族を大切に(大世帯)		腹八分で好き嫌いしない		市民福祉	C
1	いつまでも元気で長生き		子供のラジオ体操に参加する		市民福祉	C
1	長生きすること					
1	住んで楽しい村づくり					
1	耕作放棄している土地を活用する	農業対策	休耕地利用で法人化、有害鳥獣対策への助成		建設水道	C
1	特産物を増やす		企業の欲しがる物を生産、特産物の育成		建設水道	C
1	休耕地利用の農産物生産法人		食品メーカーの下請け、農業者の若返り、移住者		建設水道	C
1	有害鳥獣にやられる農業大変だ		耕作放棄地の活用		建設水道	C
1	子供の多い地域づくり	子育て支援				
1	子供を増やし産科を作る					
1	子供を預けれる施設の案内					
1	とにかく若者の多い街づくり					
1	井原鉄道の駅周りにレジャー施設	観光				
1	レジャー施設(集客できるイベントを企画)					
1	他県(福島等)より移住をアピール青野地区は実施(ブドウ)	人口対策				
2	さる、イノシシの問題その他 外来種	鳥獣対策	わな猟資格の免許交付の緩和		建設水道	C
			さるは対策困難		建設水道	C
			法の改正		建設水道	C

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(野上地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
2	道路側面の木の始末	道路整備含 めた交通対 策	道路管理ができない		建設水道	C
2	道路の管理ができない		草以外の木枝の伐採困難		建設水道	C
2	草刈り等の問題		高齢者で作業困難		建設水道	C
2	道路整備で交通の状態を良くする		高齢者で足の対策ができない		総務文教	B
2	高齢者の足の確保					
2	高齢者の足の確保					
2	高収入の就職口がたくさんある	企業誘致	就職先が少ない		建設水道	C
2	企業の受け入れ(誘致)		大企業を受け入れる		建設水道	C
2	大企業の受け入れ等		企業へ土地の提供		建設水道	C
2	独身者へ結婚の推進	結婚促進				
2	結婚問題(独身者が増えている)					
2	結婚をすること(独身者が多い)					
2	現在の井原が平凡すぎる(人の交流を増やす)	魅力不足				
2	何か目玉を作る					
2	特徴がほしい					
2	他府県からの受け入れ策	空き家対策				
2	空き家の受け入れ対策					
2	空き家を提供して外部から受け入れる					
2	安い宅地の造成	住宅				
2	市内に大学や高校が多い	教育				
2	子供の人数に対して市から補助金が出る	子育て支援				
3	さる、イノシシの被害で家庭での作物も作れない	鳥獣被害	さる、イノシシ等の被害で作物が作れない		建設水道	C
3	さる、イノシシ、カラスが出るので畑に必ず柵があるので作るのが大変					
3	イノシシ、サル対策					
3	サル、イノシシの被害が多く作物を作る楽しみがない					



○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(野上地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
3	幼稚園へ行くような年齢になると住宅から出ていく	子育て支援	幼稚園、小学校の児童減少		総務文教	C
3	幼稚園、小学校の児童が減少、入園対象児童がない		子供がない		総務文教	C
3	幼稚園、小学校の児童が少ない		通学支援		総務文教	B
3	来年入園者ゼロ以降も見込みなし					
3	学生の通学支援					
3	市営住宅の若い人利用率少ない	人口問題	子育て、若い人が少ない		市民福祉	C
3	未婚者が多い		未婚者が多い		建設水道	C
3	結婚する人が少ない		子供がない		市民福祉	C
3	住民が少ない		集落の維持		市民福祉	C
3	草刈りができていないので通行できないところがたくさんある	人口減に伴う 集落維持				
3	田畑や山が荒れていて草刈りをするとところが増えてきた					
3	空き家や荒地が増えて草だらけ					
3	地区の行事等が高齢化でできる人が少なくなって一人当たりのふたが覆うなっている					
3	空き家があっても利用ができていない					
3	若い人の仕事先が少ない(IT等)	雇用				
3	給料が少ない					
3	好きな会社がない					
3	バス路線が一方通行なので井原中心部へ行くのに1時間かかる	交通				
3	便利が悪い					
3	高齢者の買い物支援					
4	仕事で給料が30年前と同じ	仕事	高速道へ直結の4車線道路新設		建設水道	C
4	仕事があればしたい		会社の誘致 他市と人材の提携		建設水道	C
4	市内で若者が好んで働ける場所を作ってほしい		財源の確保 給料のUP(井原市は他県より低い)		建設水道	C

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(野上地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
4	鳥獣の駆除特に、サル(市で特区制定を願う)	地域美化、 農業振興	鳥獣害対策	建設水道	C	
4	耕作放棄地に桜、花桃を植える		桜、花桃等花を植える	市民福祉	C	
4	道路沿いに花をたくさん植える		環境美化	市民福祉	C	
4	道掃除をする(ごみのポイ捨てが多い)					
4	仲人の会を作る、まとまるまで責任をもって世話をする、準公務員として採用する	結婚	プロの仲人を作る	建設水道	C	
4	結婚出会いの創造		出会いの創造	建設水道	C	
4	井戸端会議をする	ふれあい				
4	会議が多い					
4	近所隣が昔のように仲良く助け合いが出来たら若者たちも多くなると思う					
4	人の流出の歯止めの方策、住宅、安価な家	住宅促進、定住				
4	現役東大生が教える塾を作る(上勝町で実施)	教育				
4	教育費の減少方策					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(青野地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
1	他市からの転入についての居住場所の確保	青野ならではの住宅問題	市営住宅から市営住宅(他団地)への転出・転入ができないが、青野で就労の場合、他住宅から転入出来ない現状を・・・。人口増・活性化を進める大義をなすなら条例改正あるいは特例をもうけるべきでは。すでに本問題は再三提案あるいはお願いがあった事です。作業場付きを希望する。		建設水道	A
1	住む家がないので青野に来れない		市営住宅に20年以上住めば自分の家になる市の制度を変更する。		建設水道	C
1	青野地区への転入を希望する人が多い(少ない)が、住むところがない		住宅に畑をつけて売り出す。(空き屋の活用を市が進める)		建設水道	C
1	住宅へ入る手段		国の予算をうまく活用する。		建設水道	C
1	住宅から住宅はなぜダメか		新規就農受入は良いが、自宅作業場付きを用意・建設してほしい。		建設水道	A
1	空き家を活用の(貸してもら)のための有効な手立ては?		市営住宅はその地区の小学校へ入学		総務文教	A
1	空き家バンクの登録発表は前進させるべき		市営住宅の条例の変更(改正)をしてほしい。		建設水道	C
1	ぶどう作りをするために青野に転入する人(家族)への住環境整備を		本当に子育てを考えているのなら市民に耳を傾けてほしい。「条例だからできない(絵に書いたモチ)」「やったことが無いから無理」「お金が無いから出来ない」という議会はどうか? 「無い」「できない」というのを望んでいない市民です。		市民福祉 建設水道	C C
1	青野ならではの公営住宅が可能とならないか		青野地区では、空き家対策が始まったところであるが、限界があると思えてならない。(貸してもらえない)住環境の問題は、やはり行政が計画的に考えて対応することがまず必要だと思う。特に青野地区では、ぶどう作りのために転入しようとする人のための住宅が足りない。ぶどうは市の中心的な農産物である。その産地で安心して栽培できる環境を整えていただきたい。=地区と行政の協働		建設水道	C
1	青野住宅から井原小学校へ通学している。地域とコミュニケーションができない。		3人目以降の子どもを産んだ世帯に国が助成金を出す。市町村が補助金を出すと取り合いになってしまう。		市民福祉	C
1	結婚したくない息子はどうしたら?	結婚の問題	出会いの場を作る。「文化活動」「スポーツ大会」「旅行会への参加」		建設水道	C
1	結婚してない人が多い					
1	結婚したくない娘が居るのは?					
1	出会いの場が少ない					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(青野地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	息子が市外に住んでいる	就労の問題	企業誘致が活発化すれば解決に向かう。		建設水道	C
1	就労場所の増加が必要では		企業が井原に来たら5年間無税にする。		建設水道	C
1	仕事がないので出て行く		分譲地を無料にし来てもらう。		建設水道	C
1	農業の収入アップ	収入の問題				
1	農業だけでは収入が少ない					
1	交通の便が悪い	交通問題				
1	道が狭く青野に来たくない					
1	浪漫館の規模の拡大のためには?	青野の振興 問題				
1	地元のPR方法					
2	働く場所が少ないので若者が他地域へ流出する	就職先の問 題	雇用数の大きい大企業を誘致する。		建設水道	C
2	近くで働く場が少ない		福山・岡山・倉敷への交通網の整備		総務文教	B
2	就職する機会(職場)が少ない		企業の誘致(2)		建設水道	C
2	大学へ進んだ後戻ってこない					
2	雇用数の大きい企業が少ない					
2	若者が仕事を立ち上げ易い市政	起業・地場 産業	ぶどう作りの環境整備		建設水道	C
2	ぶどうを作りたい人が多いと聞くのに家とか作業場とかがないと聞く		起業家の支援		建設水道	A
2	地場産業(ぶどう栽培)の経営安定(収入増)		インターネット等の環境の整備		総務文教	A
2			新規就農者を確保する		建設水道	C
2			現時点で当青野地区の基幹産業はぶどう栽培であろう。青野地区が元気である為には、各農家の収入が安定すること、市内外より新規就農してくれている若者に対する対応は特に重要と思う。新規就農者に対する住宅作業場の確保は重要。		建設水道	A
2			若者が選べる仕事を増やす。		建設水道	C

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(青野地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
2	交通手段の便利さ(不便)	交通の問題	100円バスの便を増やす。		総務文教	B
2	衣食の店が少ないので不便		近所の人に連れて行ってもらえるしくみを作る。		総務文教	B
2	交通の便が悪い		自動運転の車の開発。		総務文教	C
2	通勤に不便、交通網が少ない		あいあいバスの拡充。		総務文教	B
2	年をとっといつまで車を運転できるか		道路の整備。(2)		建設水道	C
2			公共機関を充実させる。		総務文教	B
2			バスの回数を多くする。		総務文教	B
2	未婚の人が多と思う	結婚の問題				
2	結婚する人が少ないのかな					
2	結婚しない(できない)若者が多い					
2	将来の生活のことを考えて子どもを産むのを控えている	出生率の問題・子育て				
2	子どもの数が少ない一人っ子が多い					
2	保育所付きの市営住宅をつくる					
2	事件・事故で亡くなる人が多い	その他				
3	職場が少ない(井原市役所など市民を雇用)	職場	企業誘致に力を入れる(PR、補助金)		建設水道	C
3	職場が少ない(企業誘致)		地元に住むと優先的に会社に入れる様なしくみ(市から各企業に働きかけ)		建設水道	C
3	給料が少ない		工業団地を作り、他県からの企業に使用してもらおう。		建設水道	C
3	仕事がない		井原市に企業誘致に力を入れてもらう。		建設水道	C
3	市内に企業が少ない為、都会へ行く若者が多い		井原市内の人の雇用を市内にとどめる。		建設水道	C
3			企業誘致		建設水道	C
3			工業団地		建設水道	C
3			大手企業誘致		建設水道	C

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(青野地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
3	子どもの減少、青野小の減少	子育て	大学生までの学費補助。		総務文教	A
3	地区での若い人が少ない(人口減少)		スクールバス運行(青野⇄学校[中・高]、青野⇄井原駅)。		市民福祉	C
3	子どもを育てるのにお金がかかる		小学校の改築にともない魅力ある地域にするために補助金について考えてほしい。		総務文教	B
3	高学歴による学費が多くかかるため、多数の子どもが持てない		大学の費用を国がもっと負担したら良い。		総務文教	A
3	学費が高く子どもの数を制限してしまう		医療費の無料の年齢を18歳までにあげる。		市民福祉	C
3			学校も新築されるので、教育に力を入れて、塾に行かなくても良い位に学力をつける。		総務文教	A
3	田・畑での動物の多さ	有害鳥獣	被害防止対策の強化。		建設水道	C
3			猿、どうしようもない。		建設水道	C
3	活気ある町でありたい	生活				
3	青野の場合、交通の便が悪く住みにくい					
3	生活基盤の整備、河川改修・氾濫防止、安心・安全のまちづくり					
3	空き家の活用	宅地				
3	青野に住宅・土地(団地など)があれば良いと思う。					
3	宅地がない。(少ない)					
3	ぶどう畑の相続(私にはできない)	農業の存続				
3	親の介護と仕事の両立は無理					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(青野地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」	振分先委員会	分類結果
4	小学校の複式	子ども・若者の問題	地元みんなが集まる場所、店がない。 ピアガーデンなどイベントをすればみんなが集まれるかな？ 入口が少ないのはその場所に魅力を感じる所がないからだと思うので、お店などを増やしたら若者がいっぱい来てくれると思う。	建設水道	C
4	近所で同じくらいの年の人がいない(女子が)			市民福祉	C
4	若者に魅力ある場所が少ない			建設水道	C
4	子ども同士で遊ぶ場がない				
4	おしゃれなお店がない				
4	店が少ない				
4	友達と遊ぶ場所がない				
4	井原にマクドナルドがない				
4	夜間受け入れてくれる病院が遠い(小児)			医療・子育て支援	通常診療時間外の診療(平日2~3時間)を当番制で行うのはどうか。(残業みたいに) 診療時間を18:00頃までしてほしい。 夜間医療を順番にしてほしい。 中学卒業までを高校卒業まで医療費の無料化。 夜間、休日小児科医療(専門医)の充実。
4	医療無償を中学から高校卒業まで延ばしてほしい	市民福祉	C		
4		市民福祉	C		
4		市民福祉	C		
4		市民福祉	C		
4	大学・高校卒業後の就職先が少ない	働く場	地元企業の方が高校生(中学生)に向けて自社の魅力をPRしたり、求める人材の説明、そのためにどんなことを学べば良いか等を具体的に語る場を設けてほしい。 せっかくの産業があっても、受け入れる体制が整っていないと就職・就業が難しい。青野であれば、ぶどう作りをしたくても住む場所がなく、あきらめる人がいる。軌道に乗るまで時間がかかるので、一定の収入が見込めるまで何とかならないものか。	総務文教	A
4	地域産業の衰退減少			建設水道	C
4	地元企業にどんな仕事があり、どんな技術を持つ人材が求められているかがわからない				
4	井原まで行くのが遠い	公共交通			
4	高齢者買い物支援				
4	ダンプが頻繁に通るので危ない	安全			
4	子どもが一人で帰るのが危ない				

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(青野地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
4	時の流れに思う	時代の移り変わり				
4	独身が多い	出会い・結婚				
5	働く場所が少ない	仕事	若者が働く場が少ない。正社員として安定した収入を得るための企業が少ない。	建設水道	C	
5	若い人の働き口が少ない		新規就農者に対する補助制度。	建設水道	C	
5	若者が安定して住める収入を得る仕事(雇用の安定)		若者が定着する仕事場を作る。(企業のための環境づくり)	建設水道	C	
5	思っている勤め先が無い事		人口密度の低い地域に職場を出ず企業に国が補助金を出す。	建設水道	C	
5			効率性が悪くても国の機関を地方に移す。	総務文教	A	
5			食料品の価格がたとえ高くなっても農産物の輸入を抑える。	建設水道	C	
5			仕事場をたくさん作ってもらう。	建設水道	C	
5	給料が少ないと何人も子どもは育てられない		子育て	気軽に安心して子どもを預けられるシステムをつくる!!今の一時保育はいろいろめんどろだ!保育園の費用・病気(軽い)の時でもみてもらえる所。	市民福祉	A
5	地区に子どもがいなくなった	子どもにかかる費用の補助。		市民福祉	C	
5	小さい子どもを預かってもらえるところが近くにない	全国全市町村が定住促進対策を行っており、人の取り合いになっている。無理に人を呼ぶと都会の便利さを主張される。		建設水道	C	
5	人間が贅沢になっている	時代の流れ				
5	同居をしなくなった					
5	若い人は田舎はいやがる					
5	コーポ、アパート、市営住宅がない	住宅がない				
5	人間が減った分、野生動物が増えた	環境				
5	全国全市町村同じテーマで対策を練っている	政策				



○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(美星地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	仕事が安定していない	職場	企業誘致を行う		建設水道	C
1	仕事場が少ない		公共の場の有効活用		建設水道	C
1	若い人の働ける職場を増やす					
1	工場の誘致が進んでいない					
1	大企業を連れてくる					
1	仕事場(職・会社)	仕事場	ボランティアセンターを早く作る		市民福祉	C
1	独身者への配慮・政策が無い	結婚	出会いの場を作る		建設水道	C
1			結婚できる環境づくり(給料、住宅)		建設水道	C
1	病院への送迎に困っている	交通				
1	交通の便が悪い					
1	結婚の出来る給料がもらえる社会になれば	その他				
1	水道料金を少し安くする	その他				
1	地元に若い人がいない	その他				
1	地区内の行事が出来にくくなっている(遊休農地増・イノシシ増)	その他				
1	住宅に対する補助金を出す	その他				
1	子どもの教育には国及び市が助成	その他				
1	町おこし、星イベント	その他				
1	温泉・村おこし等	その他				
1	行楽地が少ない	その他				
1	人口減少は長期的な政策が必要(4~5年では無理)	その他				
1	人口減少にもメリットがある(電力、医療などの減少)	その他				
2	イノシシ、サル被害が多い農業ができない	鳥獣被害	イノシシ、サル被害が多い農業ができない		建設水道	C
2	生活道が管理できない	高齢化	生活道、農地の管理ができなくなる		建設水道	C
2	働く場所の確保	労働場所の 問題	企業誘致などの施策がない		建設水道	C
2	働く職場がない					
2	職場がない					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(美星地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
2	核家族化を減少させること	その他				
2	美星町にコンビニストアがほしい	その他				
2	若者がいても結婚してないので子供がいない	その他				
2	農業では生活できない	その他				
2	高齢化により草刈りができない	その他				
2	交通の便が悪すぎる	その他				
2	条例の緩和	その他				
3	若い世帯に美星から仕事先まで行くのに時間と経費(ガソリン)せめて住宅費を安くする	子育ての問題	保育所が現在ない	市民福祉	C	
3	若い人の要望をもっと聞く		預かり時間に問題	市民福祉	C	
3	子育て世代への施策が薄い		雇用が不安	建設水道	C	
3	ゼロ歳から5歳までの子供が預けられる保育所をつくる		若い人の意見が反映されていない	市民福祉	C	
3	若い人に魅力ある街づくり、子育て支援(教育、病院の無償)					
3	若い人のこのような会に出やすい時間を考えていかないと本当の意見は聞けない					
3	子育てしやすくするには町内の保育園etcいるが夕方迎えが間に合う時間にしないと使えない					
3	新雇用がすぐにできないなら今忙しくて人の足りないところに雇用を増やす	雇用の問題	働く場所はあるのに雇用につながらない	建設水道	C	
3	雇用、生活基盤が無い人口流出はあっても流入がない65歳以上の働く場所も		空き家住宅を有効に使う	建設水道	C	
3	企業誘致をする					
3	具体策が無い、働く場所が無い					
3	働く場を作る					
3	井原市に魅力が無い	井原市に魅力が無い	企業誘致が無い	建設水道	C	
3	矢掛町は新施策が次々、井原市は2番煎じもない		実効性が無い	建設水道	C	
3	近隣の(地区)市町村の良い点をもっと取り入れてほしい		四季が丘にこだわりすぎ	建設水道	C	
3	医療のこと、独居老人等	高齢者問題				
3	高齢化社会で交通の面が心配					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(美星地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」	振分先委員会	分類結果
3	自然災害は無いが、鳥獣被害が多くやりがいもない	鳥獣被害			
3	ボランティアもポイント制にして将来の為の積み立てに	ボランティア			
3	若い方の住みよい街、住みやすい街にしてほしい	その他			
3	若い方の意見をもっと聞けるようにしてほしい	その他			
3	近くに学校を	その他			
3	若い人の住む街づくり	その他			
3	このような会に若い人がいないに等しい人口減少問題は若い方に考えてほしい	その他			
4	働く場の確保	職場の問題	ある程度雇用できる企業の誘致	建設水道	C
4	若者の定住施策		女性の働きやすい職場	建設水道	C
4	働く場所		産後の職場確保	建設水道	C
4	近くにいい仕事が欲しい		生きがいの持てる職場	建設水道	C
4	雇用の場		生活できる賃金体制	建設水道	C
4	地域での働く場の確保				
4	女性が好む町にする	若者の問題	地域(自分の街に)自信を持つ、魅力ある街と思う心、(住みたいと思えるような)	総務文教	A
4	若者に夢を(スポーツ、星、学業)			市民福祉	C
4	結婚推進をする			建設水道	C
4	おせっかい人育成				
4	子どもの減少				
4	子育ての条件を充実	子育ての問題	安心して子育てができる環境	市民福祉	C
4	子どもが多い家には市からボーナス		職場の協力体制	市民福祉	C
4	保育所の充実				
4	子育てにお金がかかる				
4	福祉の問題	その他			
4	車の確保	その他			
4	福祉の充実	その他			

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(美星地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
4	リハビリ、老人ホームなどの整備、充実	その他				
4	移住者には税金免除	その他				
4	農業に活力	その他				
5	サル、イノシシの被害が多い	有害鳥獣	企業誘致を行う	建設水道	C	
5	イノシシ、サルが来て困る		公共の場の有効活用	建設水道	C	
5	サル、イノシシの被害が多い		個人の対策には限界がある	建設水道	C	
5	サルに困る		地域や市全体での取り組みが必要	建設水道	C	
5	イノシシ被害の対策を					
5	若い人が少ない	働く場の問題①	企業誘致を行う	建設水道	C	
5	給料の水準が高い働く場の不足	働く場の問題②	給与水準を上げる	建設水道	C	
5	職場が無い		若い人が戻ってくれるよう働く場が必要	建設水道	C	
5	企業誘致		保育園などの整備	市民福祉	C	
5	若い人の働く場所が無い					
5	仕事が少ない	働く場の問題③	出会いの場を作る	建設水道	C	
5	働く場所が無い		結婚できる環境づくり(給料、住宅)	建設水道	C	
5	地域のブランド品の製造	その他				
5	学校(中高)が終了すると都会へ出ていく	その他				
5	人が少なく1人の負担が大きい	その他				
5	私の地区には10年くらい子どもがいない	その他				
5	結婚以前に子どもがいない	その他				
5	美しい女が少ない	その他				
5	子どもがいない(少ない)	その他				
6	若い人たちの出会いの場所づくりを若い世代の人たちにプロデュースさせる、それを行政がサポートする	人口減少問題	若い人たちの出会いの場所づくりを若い世代の人たちにプロデュースさせる、それを行政がサポートする	建設水道	C	
6	結婚できない若者たちにコンサート、仲人者育成、テレビ見合い場		結婚できない若者たちにいろいろな出会いの場作りを考える、テレビの見合い番組のように仲人の育成	建設水道	C	

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(美星地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
6	イノブタが増える、休耕田が増える	農業の問題	イノブタが増える、休耕田が増える		建設水道	C
6	イノシシをとって下さい		イノシシをとって下さい		建設水道	C
6	働く場所	働く場所の 問題				
6	若い人の正社員の会社を多くする					
6	税金、飯	その他				
6	医療費安く	その他				
6	水道基本料金を安くして欲しい	その他				
6	子どもの通学路の安全	その他				
6	市道の草刈りの回数を増やす。馬場の谷2回	その他				
6	地区の祭りができなくなる	その他				
7	若者の職場を確保したい	企業誘致の 問題	井原市内を企業誘致ゾーンと住宅ゾーンに分ける		建設水道	C
7	企業立地		旧井原市に企業を誘致し旧美星町に住宅団地を造る		建設水道	C
7	職場の確保					
7	市内をゾーニング。企業誘致ゾーン、住宅地ゾーンetc					
7	兼業農家の育成する	農業振興	税込アップの品質向上指導		建設水道	C
7	高齢者専業の育成					
7	農家所得の向上					
7	空き家の利用	地域の活性 化	地域に空き家が多い		建設水道	C
7	結婚の推進		他市町からの流入を進める		建設水道	C
7	人口導入		独身者が多い、出会いの場		建設水道	C
7	地域づくり	その他				
7	道の上の木が邪魔	その他				
7	家の近くにイノシシが出る	その他				

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(美星地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
8	若者の結婚推進	子育て支 援・結婚	子育て支援、1人100万・2人200万の助成		市民福祉	C
8	生涯独身者を減少させる					
8	子どもの多いほど助成金を増やす					
8	安心して育てられる環境					
8	子育て補助					
8	町婚					
8	住宅の提供	住居	コンパクトシティで土地と家の提供		総務文教	A
8	外からの移住					
8	コンパクトシティ					
8	移住者増加の為のインフラ整備、光ケーブル					
8	井原市内での雇用の確保	就労の場	Uターン、Iターン等の就職者に通勤手当等の手厚い助成 働きやすい環境づくり		建設水道	C
8	企業誘致の促進					
8	新卒就労者に対し自宅より通勤者に助成する。Uターンを含む					
8	働く場所					
8	農業でもっとお金を稼ぐ方法	その他				
8	農地の提供	その他				
8	教育・高校までの医療費の無料化	その他				
8	教育	その他				
8	大学	その他				
9	企業誘致	雇用の問題	企業誘致 仕事を増やす		建設水道	C
9	仕事をください					
9	仕事を増やす					
9	会社の誘致					
9	企業の誘致					
9	雇用の場を多くする					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(美星地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
9	ふるさと祭りで大々的に市外の方に発信	人の流入	イベントを多くする		総務文教	A
9	若者の転入		----- 集団見合いをする		市民福祉	C
9	イベントを多くする		-----		建設水道	C
9	集団見合いをする		若者の転入を行う		建設水道	C
9					総務文教	A
9	井原市内に住みたい魅力をつくる	魅力ある町 の問題	美星町の魅力、よいところを全国に発信する		市民福祉	C
9	魅力あるふるさと		----- 井原市を住みたくなる街にする		建設水道	C
9	井原限定で販売する品物を作る		-----		総務文教	A
9	美星町の魅力を全国に発信する		井原のブランド品を作る		市民福祉	C
9	介護施設の充実	介護の問題			建設水道	C
9	介護施設で健康診断(希望)					
9	交通機関		その他			
10	働く企業が少ない	働く場の問 題	企業誘致を期待するが給与が年齢相応である事、一家庭を維持で きる額である事、特に中途採用に対して十分な対応を		建設水道	C
10	町内での仕事が少ない		-----			
10	働く場の確保					
10	山を昭和30年代の状態に手入れ	山の問題	山をきれいにしてイノシシを追い払う		建設水道	C
10			----- 手入れのため人を雇う		建設水道	C
10			賃金補助を市等で出す		建設水道	C

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(美星地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先委員会	分類結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙のグループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ)について書かれた「解決策」			
10	私の地域では高齢化に伴い人口減少に歯止めがかけられない、このため地域の維持自体が困難になりつつあり	空家の利用促進				
10	新規の移住者に対する助成の具体的内容は?例、矢掛町—3年間の助成行っていると聞いたが井原市も積極的な対応を願う					
10	空家の利用促進をしっかりとしてほしい。(若い世代の定住に向けて)					
10	子どもの声を聞いていない	その他				
10	年寄りばかり	その他				
10	教育費を大学まで市が負担する	その他				
10	病院行く足がない(井原、成羽)	その他				
10	買い物が悪い、不便	その他				
10	井原市への新しい人の流れを作る	その他				
10	定住促進に力を注いでほしい	その他				
11	空き家を修理して若い人に外から入ってもらう	雇用定住促進	企業はよそからひっぱってくる、市内全域にバランスを取って、大企業に来てもらう		建設水道	C
11	若い人が働く所(企業)					
11	公務員等、雇用する事					
11	企業誘致					
11	保育の充実	子育て支援	義務教育を含め全経費を公費負担にする		総務文教 市民福祉	A C
11	子育て支援					
11	子どもに金をかける、学費無償化、公務員、議員の経費削減を充てる					
11	町道等の草刈りは市でして欲しい	環境美化	県・市からの助成、市道の草刈り範囲の拡大		市民福祉	A
11	自然環境の美化					
11	県道の草刈りをもっと広く					
11	環境(景観)					
11	近隣自治との相互協力	その他				
11	市民税を少なくする	その他				
11	国保税の軽減	その他				



○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(美星地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
11	井原市の発信	その他				
11	音楽祭	その他				
11	若い人が集まる様なイベントを考える	その他				
11	宿泊施設の大型化	その他				
11	人の集まる場所、観光地	その他				
11	鬼ヶ嶽温泉の活用	その他				
11	フラワー道路をたくさん作る	その他				
11	市域のバランスのとれた開発	その他				
11	交通の充実	その他				
11	幹線道の雪対策	その他				
11	医療体制の充実	その他				
11	病院入院設備	その他				
12	定年延長	働く場所の 確保	観光開発	建設水道	C	
12	市職員のOBをやめる		企業誘致	建設水道	C	
12	観光開発		定年制度の見直し	建設水道	C	
12	働く場を増やす		天下りの廃止	総務文教	C	
12	女性を重用					
12	企業誘致					
12	企業誘致					
12	病院の建設	公共施設の 充実	公共交通機関の充実(バス)	総務文教	B	
12	保育所の設置が遅すぎる		病院を充実	市民福祉	C	
12	保育所の充実					
12	美星、芳井に分譲地を作る	定住問題	美星町の土地に分譲地を作ってほしいです	建設水道	C	
12	美星を置き去りにするな					
12	定住対策再利用の促進					
12	イノシシをとるシステムを作る					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(美星地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
12	道の溝の清掃	環境問題				
12	大規模農道美化					
12	幹線道路の草刈りシステム					
12	木の枝を切れ					
12	結婚推進をしっかりとる	その他				
12	高齢者を子育てに登用	その他				
12	選挙の投票率をUPする方法	その他				
12	コンビニを作る	就職	60歳を超えての仕事先が少ない		建設水道	C
12	企業を呼ぶ		企業誘致(若者の)		建設水道	C
12	地元で若者が働ける企業を早急に考えて欲しい					
12	仕事場少ない(定年後)					
12	井原の良さを発信する	農業	空き家・荒地の再利用		建設水道	C
12	空き家・荒地に全国より希望者を募り新規農業者転入		農業をしたい人を全国から呼ぶ		建設水道	C
12	コメの値段を上げる					
12	イノシシをやっつける					
12	婚活	結婚	地元で男性の若者が残っているので婚活		建設水道	C
12	若い人が地元に残らない					
12	交通手段	その他				
12	高速道路のインターを作る	その他				
12	防災と同じで地域は地域の人協力して守る気持ちが大事	その他				

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(芳井地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
1	市有地の草刈り	環境整備	道路を広くする。草刈り回数を増やす。落石防止柵が狭くしている。		建設水道	C
1	県道の整備		県道、市道の草刈りをひと夏4回以上を希望		建設水道	C
1	道路整備		大型バスが通るように道を広くしてほしい。県道の草刈を年3回位してほしい。		建設水道	C
1	雑草の処理		雑草処理を地形により単価を変える。回数を増やしてほしい。		市民福祉	A
1	草刈りが充分できなくて、結果3年で2名が転倒					
1	交通機関	公共交通整備	乗用のバスを小型化。民間に委託。		総務文教	B
1	交通					
1	かいもの					
1	猪、さる等の対策	有害鳥獣	補助制度の充実		建設水道	C
1	野生生物による被害		家の周りを100メートル以上草刈りを年何回かしないとだめらしいが、人間年を取ってできない。どうか考えてください。		建設水道	C
1	人間の心の教育	教育				
1	年寄り世話を市内ですることを考える					
1	上嶋住宅に空き家が多い5/10	空き家	井原市の住宅に単身者でも利用できるように考えてほしい。		建設水道	C
1	居住宅にも空き家が増えている					
1	明治の旧防災無線の活用					
1	上下水道の整備					
1	気軽に集まれる場所					
2	田畑、山の境線が分からなくなっている					
2	老人が多くなり、芳井、井原へ出ることが難しい様です	高齢者	老後が安心して暮らせるまちづくりをしてほしい。		市民福祉	C
2	老後が安心し暮らせない(年金等)					
2	健康への不安					
2	元気な人が少ないため、役が多すぎて困ってゆっくり仕事ができない					

○ワークショップで出された意見の分類結果報告書(芳井地区)

班番号	第1の作業		第3の作業		振分先 委員会	分類 結果
	付箋紙に書かれた内容	付箋紙の グループ名	各班において選択した課題(付箋紙のグループ) について書かれた「解決策」			
2	猪の出没被害	有害鳥獣	猟をする人が高齢化している。若い人が簡単に免許をとれる仕組みに。		建設水道	C
2	サルによる被害		いつでも猟ができるしくみに		建設水道	C
2	動物による農作物の被害(人に対しても)					
2	野良猫が多い					
2	空き家へ移住(対策)	空き家対策	空家の線引きが必要。貸してもらえる空き家を調査する。		建設水道	C
2	空家問題					
2	空家が増加					
2	活気のない商店街。人を呼び込む方法が見つからない。					
2	県道が狭い所が多いので、老人には運転が難しくなる	環境整備				
2	浦山の危険対策					
2	地区の子どもの問題	教育問題				
2	義務教育費を0円にする					
2	バス廃止による生徒の登下校をどうしたらよいか					
2	婚活、若者へのアドバイス	結婚				